ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health , Labour and Welfare

Press Release

平成 30 年 9 月 21 日
【照会先】保険局調査課
課長　　山内　孝一郎（内線：3291）
数理企画官　仲津留　隆　（内線：3293）
担当係　　医療機関医療費係（内線：3298）
電話　：03-5253-1111（代表）
03-3595-2579（直通）

報道関係者　　各位

「平成 29 年度　調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するために、電算処理分のレセプトを集計し、「調剤医療費(電算処理分)の動向」として公表しています。

このたび、平成 29 年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

【調査結果のポイント】

○　平成 29 年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 7 兆 6,664 億円（伸び率＋3.1%）であり、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 9,187 円（伸び率＋1.9%）であった。

その内訳は、技術料が 1 兆 9,122 億円（伸び率＋3.4%）、薬剤料が 5 兆 7,413 億円（伸び率＋2.9%）、特定保険医療材料料が 130 億円（伸び率＋1.6%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が 1 兆 92 億円（伸び率＋16.9%）であった。【表１、表２】

○　処方せん 1 枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75 歳以上では 11,173 円と、0 歳以上 5 歳未満の 3,275 円の約 3.41 倍であった。【表３】

○　後発医薬品割合は、平成 29 年度末で数量ベース（新指標）が 73.0%（伸び幅＋4.4%）、数量ベース（旧指標）が 50.2%（伸び幅＋4.8%）、薬剤料ベースが 19.0%（伸び幅＋3.0%）、後発医薬品調剤率が 70.8%（伸び幅＋3.4%）であった。【表４】

○　内服薬の処方せん 1 枚当たり薬剤料の伸び率は＋0.8%となっており、この伸び率を「処方せん 1 枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1 種類当たり投薬日数の伸び率」、「1 種類 1 日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲1.0%、＋2.1%、▲0.4%であった。【表５】

○　平成 29 年度の調剤医療費を処方せん発行元医療機関別にみると、医科では病院が 3 兆 1,372 億円（伸び率＋2.0%）、診療所が 4 兆 5,048 億円（伸び率＋3.8%）であり、平成 29 年度末の後発医薬品割合は、数量ベース（新指標）で、病院が 73.3%（伸び幅＋4.3%）、診療所が 72.8%（伸び幅＋4.4%）であった。また、後発医薬品割合（数量ベース、新指標）を制度別でみた場合、最も高かったのは公費の 76.8%（伸び幅＋3.4%）、もっとも低かったのが後期高齢者で 70.7%（伸び幅＋4.3%）であった。【表１４、表１５】

○　平成 29 年度末の後発医薬品割合を、数量ベース（新指標）の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は 74.1%、次いで大きい消化器官用薬は 83.6%であった。【表１６】

「平成 29 年度　調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/)

調剤医療費（電算処理分）の動向の概要
～平成29年度版～

1．調剤医療費の全数と電算処理分の比較

平成29年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆6,664億円（対前年度同期比（伸び率という。以下同様）＋3.1％）で、処方せん1枚当たり調剤医療費は9,187円（＋1.9％）であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方せん枚数ベースともに99％に達しており、処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1％程度と小さい。

表1　調剤医療費総額、処方せん枚数及び処方せん1枚当たり調剤医療費

		実数							対前年度比（％）					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全数	調剤医療費（億円）	65,601	66,431	70,380	71,987	78,746	74,953	77,129	1.3	5.9	2.3	9.4	▲ 4.8	2.9
	処方せん枚数（万枚）	77,851	78,986	79,430	80,831	82,372	82,999	83,886	1.5	0.6	1.8	1.9	0.8	1.1
	1枚当たり調剤医療費（円）	8,426	8,410	8,861	8,906	9,560	9,031	9,195	▲ 0.2	5.4	0.5	7.3	▲ 5.5	1.8
電算処理分	調剤医療費（億円）	65,133	65,902	69,933	71,515	78,192	74,395	76,664	1.2	6.1	2.3	9.3	▲ 4.9	3.1
	電算化率（％）	99.3	99.2	99.4	99.3	99.3	99.3	99.4	―	―	―	―	―	―
	処方せん枚数（万枚）	77,289	78,452	78,958	80,359	81,912	82,527	83,445	1.5	0.6	1.8	1.9	0.8	1.1
	電算化率（％）	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5	―	―	―	―	―	―
	1枚当たり調剤医療費（円）	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9
	電算処理分／全数	1.000	0.999	1.000	0.999	0.999	0.998	0.999	―	―	―	―	―	―

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆9,122億円（伸び率＋3.4%）、薬剤料が5兆7,413億円（＋2.9%）で、特定保険医療材料料が130億円（＋1.6%）であった。

処方せん1枚当たり調剤医療費は9,187円（伸び率＋1.9%）で、その内訳は、技術料が2,292円（＋2.3%）、薬剤料が6,880円（+1.8%）で、特定保険医療材料料が16円（＋0.5%）であった。

構成割合は技術料が24.9%、薬剤料が74.9%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳 （総額）

	実数（億円）							対前年度比（%）					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
調剤医療費	65,133	65,902	69,933	71,515	78,192	74,395	76,664	1.2	6.1	2.3	9.3	▲ 4.9	3.1
技術料	16,435	17,020	17,371	17,682	18,283	18,490	19,122	3.6	2.1	1.8	3.4	1.1	3.4
調剤技術料	13,530	13,868	14,205	14,572	15,122	14,834	15,423	2.5	2.4	2.6	3.8	▲ 1.9	4.0
調剤基本料	4,509	4,738	4,897	4,988	5,336	5,055	5,478	5.1	3.4	1.9	7.0	▲ 5.3	8.4
調剤料	7,730	7,915	8,065	8,257	8,425	8,415	8,554	2.4	1.9	2.4	2.0	▲ 0.1	1.7
加算料	1,291	1,215	1,243	1,327	1,361	1,364	1,391	▲ 5.9	2.3	6.7	2.6	0.2	2.0
薬学管理料	2,905	3,152	3,166	3,110	3,161	3,656	3,699	8.5	0.4	▲ 1.8	1.6	15.7	1.2
薬剤料	48,590	48,771	52,444	53,711	59,783	55,778	57,413	0.4	7.5	2.4	11.3	▲ 6.7	2.9
内服薬薬剤料	40,881	40,729	43,755	44,460	49,762	45,838	46,712	▲ 0.4	7.4	1.6	11.9	▲ 7.9	1.9
屯服薬他薬剤料	369	368	382	384	396	378	381	▲ 0.2	3.9	0.4	3.1	▲ 4.4	0.9
注射薬薬剤料	1,555	1,719	1,959	2,208	2,461	2,563	2,884	10.5	14.0	12.7	11.5	4.1	12.5
外用薬薬剤料	5,784	5,955	6,348	6,660	7,164	6,998	7,436	2.9	6.6	4.9	7.6	▲ 2.3	6.3
（再掲）後発医薬品薬剤料	4,203	4,958	5,999	7,195	8,502	8,636	10,092	18.0	21.0	19.9	18.2	1.6	16.9
特定保険医療材料料	108	112	118	122	126	128	130	1.0	5.4	3.6	3.8	0.9	1.6

注1）「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。
注2）「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算（調剤基本料に係る部分）、及び在宅患者調剤加算を含めている。
注3）「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。
注4）「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
注5）調剤医療費及び処方せん枚数（受付回数）の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数（円）							対前年度比（%）					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
調剤医療費	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9
技術料	2,126	2,169	2,200	2,200	2,232	2,240	2,292	2.0	1.4	0.0	1.4	0.4	2.3
構成割合（%）	25.2	25.8	24.8	24.7	23.4	24.9	24.9	—	—	—	—	—	—
調剤技術料	1,751	1,768	1,799	1,813	1,846	1,797	1,848	1.0	1.8	0.8	1.8	▲ 2.6	2.8
調剤基本料	583	604	620	621	651	612	656	3.5	2.7	0.1	5.0	▲ 6.0	7.2
調剤料	1,000	1,009	1,021	1,028	1,029	1,020	1,025	0.9	1.2	0.6	0.1	▲ 0.9	0.5
加算料	167	155	157	165	166	165	167	▲ 7.3	1.7	4.9	0.6	▲ 0.5	0.8
薬学管理料	376	402	401	387	386	443	443	6.9	▲ 0.2	▲ 3.5	▲ 0.3	14.8	0.1
薬剤料	6,287	6,217	6,642	6,684	7,299	6,759	6,880	▲ 1.1	6.8	0.6	9.2	▲ 7.4	1.8
構成割合（%）	74.6	74.0	75.0	75.1	76.5	75.0	74.9	—	—	—	—	—	—
内服薬薬剤料	5,289	5,192	5,542	5,533	6,075	5,554	5,598	▲ 1.8	6.7	▲ 0.2	9.8	▲ 8.6	0.8
屯服薬他薬剤料	48	47	48	48	48	46	46	▲ 1.7	3.2	▲ 1.4	1.2	▲ 5.1	▲ 0.3
注射薬薬剤料	201	219	248	275	300	311	346	8.9	13.2	10.7	9.4	3.4	11.3
外用薬薬剤料	748	759	804	829	875	848	891	1.4	5.9	3.1	5.5	▲ 3.0	5.1
（再掲）後発医薬品薬剤料	544	632	760	895	1,038	1,046	1,209	16.2	20.2	17.9	15.9	0.8	15.6
特定保険医療材料料	14	14	15	15	15	15	16	1.8	4.7	1.8	1.8	0.1	0.5
構成割合（%）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—

３．年齢階級別の状況

処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では11,173円と、0歳以上5歳未満の3,275円の約3.41倍となっていた。

表3　年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数（円）							対前年度比（%）					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総数	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9
0歳以上5歳未満	3,206	3,200	3,255	3,245	3,328	3,250	3,275	▲ 0.2	1.7	▲ 0.3	2.5	▲ 2.3	0.7
5歳以上10歳未満	4,451	4,445	4,608	4,626	4,761	4,605	4,725	▲ 0.2	3.7	0.4	2.9	▲ 3.3	2.6
10歳以上15歳未満	5,225	5,289	5,624	5,688	5,869	5,742	6,024	1.2	6.3	1.1	3.2	▲ 2.2	4.9
15歳以上20歳未満	5,512	5,526	5,785	5,883	6,058	5,937	6,261	0.3	4.7	1.7	3.0	▲ 2.0	5.5
20歳以上25歳未満	5,585	5,600	5,846	5,880	6,063	5,980	6,230	0.3	4.4	0.6	3.1	▲ 1.4	4.2
25歳以上30歳未満	5,909	5,940	6,165	6,198	6,439	6,290	6,544	0.5	3.8	0.5	3.9	▲ 2.3	4.0
30歳以上35歳未満	6,290	6,323	6,566	6,606	6,897	6,734	6,930	0.5	3.8	0.6	4.4	▲ 2.4	2.9
35歳以上40歳未満	6,939	6,966	7,282	7,303	7,617	7,410	7,585	0.4	4.5	0.3	4.3	▲ 2.7	2.4
40歳以上45歳未満	7,719	7,761	8,117	8,158	8,592	8,347	8,467	0.5	4.6	0.5	5.3	▲ 2.9	1.4
45歳以上50歳未満	8,231	8,261	8,673	8,729	9,354	9,059	9,185	0.4	5.0	0.7	7.2	▲ 3.2	1.4
50歳以上55歳未満	8,704	8,668	9,053	9,069	9,888	9,390	9,487	▲ 0.4	4.4	0.2	9.0	▲ 5.0	1.0
55歳以上60歳未満	9,180	9,119	9,526	9,530	10,434	9,816	9,860	▲ 0.7	4.5	0.1	9.5	▲ 5.9	0.4
60歳以上65歳未満	9,537	9,452	9,880	9,874	10,775	10,063	10,131	▲ 0.9	4.5	▲ 0.1	9.1	▲ 6.6	0.7
65歳以上70歳未満	9,767	9,708	10,182	10,178	11,124	10,370	10,446	▲ 0.6	4.9	▲ 0.0	9.3	▲ 6.8	0.7
70歳以上75歳未満	9,981	9,870	10,366	10,434	11,409	10,614	10,763	▲ 1.1	5.0	0.7	9.3	▲ 7.0	1.4
75歳以上	10,541	10,427	10,978	11,010	11,730	10,948	11,173	▲ 1.1	5.3	0.3	6.5	▲ 6.7	2.1

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合（数量ベース）階級別保険薬局数構成割合

平成25年4月に公表された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に基づく後発医薬品割合（数量ベース、新指標）では、平成29年度末の後発医薬品割合は73.0%（対前年同期差（伸び幅という。以下同様）＋4.4%）であった。数量ベース（旧指標）は50.2%（＋4.8%）、薬剤料ベースは19.0%（＋3.0%）、後発医薬品調剤率は70.8%（＋3.4%）であった。

年度毎の平均でみると、平成29年度の後発医薬品割合は数量ベース（新指標）が70.2%（＋3.4%）、数量ベース（旧指標）が47.7%（＋3.2%）、薬剤料ベースが17.6%（＋2.1%）、後発医薬品調剤率が69.4%（＋2.4%）であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース（新指標）で後発医薬品割合が65%以上の薬局数は平成29年4月で69.9%であったところ、平成30年3月では76.3%となっており、うち75%以上の薬局数は平成29年4月で39.3%であったところ、平成30年3月では56.8%となっていた。

表4-1　平成29年度における後発医薬品割合

（単位：%）

	平成28年度		平成29年度											
	4月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース（新指標）	64.8	68.6	68.8	69.0	69.2	68.6	69.1	69.6	69.4	70.2	70.9	71.9	72.5	73.0
数量ベース（旧指標）	43.1	45.4	45.7	45.8	46.0	46.4	46.8	47.3	48.1	48.3	48.6	49.4	49.7	50.2
薬剤料ベース	14.6	16.1	16.2	16.2	16.4	16.8	16.9	17.5	18.1	18.3	18.4	18.4	18.6	19.0
後発医薬品調剤率	65.7	67.4	67.7	67.6	67.3	67.4	68.0	68.7	70.0	70.3	70.7	72.2	71.7	70.8

表4-2　年度毎にみた後発医薬品割合

（単位：%）

	実数							対前年度差					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
数量ベース（新指標）	-	-	47.9	56.4	60.1	66.8	70.2	・	・	8.5	3.7	6.8	3.4
数量ベース（旧指標）	23.4	28.7	31.1	37.0	40.2	44.5	47.7	5.2	2.4	5.9	3.2	4.3	3.2
薬剤料ベース	8.6	10.2	11.4	13.4	14.2	15.5	17.6	1.5	1.3	2.0	0.8	1.3	2.1
後発医薬品調剤率	48.6	52.6	55.0	60.8	63.1	67.0	69.4	4.1	2.3	5.8	2.3	3.9	2.4

注1）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2）「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月（平成25年度は薬価収載月（6月と12月））以降、医療課長通知＊に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなることがある。
＊厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他（各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報）」を参照。
注3）「後発医薬品調剤率」とは、全処方せん受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方せん受付回数の割合をいう。
注4）旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合（数量ベース）の算出方法をいう。
注5）旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。
注6）「・」は算出できないものを示す。

表4-3　後発医薬品割合（数量ベース）階級別保険薬局数構成割合

（単位：%）

		平成28年度		平成29年度											
		4月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割合	10%未満	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	10%以上　20%未満	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4
	20%以上　30%未満	2.7	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2
	30%以上　40%未満	5.6	4.2	4.0	4.0	3.8	3.9	3.8	3.6	3.7	3.5	3.3	3.1	3.0	2.8
	40%以上　50%未満	9.4	7.2	7.0	7.0	6.9	7.0	6.7	6.5	6.6	6.1	5.9	5.5	5.3	5.3
	50%以上　60%未満	12.1	10.2	10.2	10.0	9.9	10.1	9.9	9.7	9.6	9.5	9.2	8.7	8.7	8.6
	60%以上　65%未満	9.5	6.5	6.4	6.5	6.4	6.8	6.5	6.1	6.1	5.7	5.6	5.4	5.4	5.3
	65%以上　70%未満	16.0	13.2	13.1	13.0	12.8	14.2	13.5	12.5	12.9	11.5	10.1	8.6	8.0	7.3
	70%以上　75%未満	16.8	17.7	17.5	17.5	17.5	17.2	17.2	17.3	17.2	17.1	16.7	15.5	13.8	12.2
	75%以上　80%未満	14.6	18.0	18.5	18.7	19.0	19.6	19.7	19.7	20.2	20.2	20.0	19.9	20.2	20.6
	80%以上　90%未満	11.0	18.5	18.8	19.0	19.4	17.3	18.6	20.3	19.6	22.1	24.7	28.5	30.5	32.4
	90%以上	1.1	1.9	2.0	2.0	1.9	1.7	1.8	2.0	1.8	2.2	2.5	3.0	3.4	3.8
	65%未満	40.5	30.7	30.1	29.9	29.4	30.1	29.3	28.2	28.2	27.0	25.9	24.5	24.0	23.7
	65%以上	59.5	69.3	69.9	70.1	70.6	69.9	70.7	71.8	71.8	73.0	74.1	75.5	76.0	76.3
	65%以上　75%未満	32.8	30.9	30.6	30.4	30.4	31.4	30.7	29.8	30.1	28.6	26.8	24.1	21.8	19.5
	75%以上	26.7	38.4	39.3	39.7	40.2	38.5	40.0	42.0	41.7	44.5	47.2	51.4	54.1	56.8

注1）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2）新指標は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

5. 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料5,590円を、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.81、23.6日、84円となっていた。

また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率＋0.8%を、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲1.0%、＋2.1%、▲0.4%となっていた。

表5 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数							対前年度比（%）					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料（円）	5,283	5,180	5,528	5,526	6,068	5,548	5,590	▲ 1.9	6.7	▲ 0.0	9.8	▲ 8.6	0.8
処方せん1枚当たり薬剤種類数	2.90	2.90	2.90	2.88	2.86	2.83	2.81	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0
1種類当たり投薬日数（日）	20.5	21.1	21.8	22.3	22.8	23.1	23.6	3.1	3.5	2.3	1.9	1.5	2.1
1種類1日当たり薬剤料（円）	89	85	87	86	93	85	84	▲ 4.7	3.2	▲ 1.9	8.6	▲ 9.1	▲ 0.4

６－１．薬効分類別の状況（1）（内服薬薬剤料総額）

内服薬の薬剤料（総額）を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が9,759億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が8,147億円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が＋10.8%と最も高く、化学療法剤が▲23.7%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,732億円と最も高く、次いで消化器官用薬が1,333億円となっている。伸び率は、循環器官用薬が＋28.2%と最も高く、ビタミン剤が▲1.5%と最も低い。

表6-1　内服薬　薬効分類別 薬剤料

	総額（億円）			後発医薬品（億円）（再掲）			対前年度比（%）		後発医薬品(再掲)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度
内服薬　総数	49,707	45,784	46,645	7,568	7,654	8,977	▲ 7.9	1.9	1.1	17.3
11 中枢神経系用薬	7,937	7,666	8,147	826	883	1,002	▲ 3.4	6.3	7.0	13.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	592	539	545	139	144	155	▲ 9.0	1.2	3.5	7.7
114 解熱鎮痛消炎剤	989	991	1,031	106	119	129	0.2	4.0	12.1	9.2
116 抗パーキンソン剤	684	690	709	28	34	45	0.9	2.7	21.4	32.3
117 精神神経用剤	2,607	2,516	2,679	211	272	329	▲ 3.5	6.5	29.2	20.8
119 その他中枢神経系用薬	2,422	2,286	2,448	303	270	292	▲ 5.6	7.1	▲ 11.0	8.5
21 循環器官用薬	11,011	9,935	9,759	2,170	2,130	2,732	▲ 9.8	▲ 1.8	▲ 1.9	28.2
212 不整脈用剤	511	443	431	104	111	127	▲ 13.3	▲ 2.8	7.2	13.7
214 血圧降下剤	4,953	4,354	4,036	661	692	1,039	▲ 12.1	▲ 7.3	4.6	50.3
217 血管拡張剤	1,298	1,082	1,072	648	598	642	▲ 16.7	▲ 0.9	▲ 7.8	7.4
218 高脂血症用剤	2,858	2,653	2,645	610	558	730	▲ 7.2	▲ 0.3	▲ 8.5	30.8
22 呼吸器官用薬	483	448	435	160	178	189	▲ 7.2	▲ 2.9	11.3	6.2
23 消化器官用薬	4,150	3,902	4,132	1,307	1,285	1,333	▲ 6.0	5.9	▲ 1.7	3.7
232 消化性潰瘍用剤	2,872	2,635	2,781	916	859	883	▲ 8.2	5.5	▲ 6.2	2.8
239 その他の消化器官用薬	586	544	579	86	109	120	▲ 7.1	6.4	25.9	10.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,356	1,316	1,367	128	129	137	▲ 3.0	3.9	0.9	5.9
31 ビタミン剤	933	927	971	303	276	272	▲ 0.7	4.8	▲ 9.0	▲ 1.5
32 滋養強壮薬	513	502	514	32	35	39	▲ 2.1	2.4	10.1	10.2
325 蛋白アミノ酸製剤	439	427	435	16	16	17	▲ 2.9	1.8	1.3	8.9
33 血液・体液用薬	3,548	3,243	3,456	653	727	809	▲ 8.6	6.6	11.3	11.3
39 その他の代謝性医薬品	6,365	6,330	6,807	693	660	754	▲ 0.6	7.5	▲ 4.7	14.2
396 糖尿病用剤	3,133	3,158	3,416	268	212	241	0.8	8.2	▲ 20.8	13.6
399 他に分類されない代謝性医薬品	2,555	2,537	2,734	315	349	401	▲ 0.7	7.8	10.7	14.9
42 腫瘍用薬	2,821	2,906	3,221	272	259	323	3.0	10.8	▲ 4.6	24.4
422 代謝拮抗剤	425	392	350	5	5	42	▲ 7.9	▲ 10.7	1.6	691.2
429 その他の腫瘍用薬	2,332	2,453	2,811	266	254	279	5.2	14.6	▲ 4.5	10.0
44 アレルギー用薬	2,871	2,523	2,487	562	623	819	▲ 12.1	▲ 1.4	10.8	31.5
52 漢方製剤	1,106	1,114	1,170	－	－	－	0.7	5.1	・	・
61 抗生物質製剤	888	772	711	212	215	223	▲ 13.1	▲ 7.9	1.7	3.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	415	354	321	85	88	92	▲ 14.8	▲ 9.1	3.3	5.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	351	287	251	116	113	110	▲ 18.3	▲ 12.7	▲ 2.2	▲ 2.9
62 化学療法剤	4,751	3,229	2,463	189	173	205	▲ 32.0	▲ 23.7	▲ 8.2	18.4
624 合成抗菌剤	404	336	303	80	71	73	▲ 16.9	▲ 9.8	▲ 11.0	2.4
625 抗ウイルス剤	4,139	2,706	1,969	50	49	75	▲ 34.6	▲ 27.2	▲ 2.1	53.9

注1）表示していない項目（薬効）があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。
注2）「－」は0を意味する。

６－２. 薬効分類別の状況(2)（内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料）

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,169円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が976円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が＋9.6%と最も高く、化学療法剤が▲24.5%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数（円）							対前年度比（%）					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 総数	5,283	5,180	5,528	5,526	6,068	5,548	5,590	▲ 1.9	6.7	▲ 0.0	9.8	▲ 8.6	0.8
11 中枢神経系用薬	792	815	895	923	969	929	976	2.9	9.8	3.1	5.0	▲ 4.1	5.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	88	83	84	74	72	65	65	▲ 5.6	0.5	▲ 11.6	▲ 2.2	▲ 9.7	0.1
114 解熱鎮痛消炎剤	97	99	110	116	121	120	124	1.9	10.6	6.2	3.7	▲ 0.5	2.9
116 抗パーキンソン剤	70	71	76	80	84	84	85	0.8	7.0	5.1	4.8	0.1	1.5
117 精神神経用剤	276	281	300	306	318	305	321	1.8	6.9	2.1	4.0	▲ 4.2	5.3
119 その他中枢神経系用薬	215	227	263	276	296	277	293	5.3	15.9	5.0	7.1	▲ 6.3	5.9
21 循環器官用薬	1,471	1,382	1,445	1,347	1,344	1,204	1,169	▲ 6.0	4.6	▲ 6.8	▲ 0.2	▲ 10.4	▲ 2.9
212 不整脈用剤	78	71	71	65	62	54	52	▲ 9.2	0.9	▲ 9.3	▲ 3.4	▲ 13.9	▲ 3.8
214 血圧降下剤	688	654	683	629	605	528	484	▲ 4.9	4.4	▲ 8.0	▲ 3.8	▲ 12.8	▲ 8.3
217 血管拡張剤	226	195	193	165	159	131	128	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 14.7	▲ 3.8	▲ 17.3	▲ 2.0
218 高脂血症用剤	358	335	357	336	349	321	317	▲ 6.5	6.5	▲ 5.9	4.0	▲ 7.9	▲ 1.4
22 呼吸器官用薬	70	64	63	58	59	54	52	▲ 8.4	▲ 2.0	▲ 7.5	1.2	▲ 7.9	▲ 3.9
23 消化器官用薬	517	485	519	494	507	473	495	▲ 6.4	7.2	▲ 4.8	2.5	▲ 6.7	4.7
232 消化性潰瘍用剤	379	346	371	342	351	319	333	▲ 8.8	7.3	▲ 7.7	2.4	▲ 8.9	4.4
239 その他の消化器官用薬	71	70	73	72	72	66	69	▲ 0.5	4.4	▲ 1.8	▲ 0.7	▲ 7.8	5.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	149	147	156	160	166	159	164	▲ 1.3	5.9	2.4	3.7	▲ 3.7	2.8
31 ビタミン剤	100	98	107	109	114	112	116	▲ 1.8	9.0	2.5	4.2	▲ 1.4	3.7
32 滋養強壮薬	65	62	64	62	63	61	62	▲ 4.7	2.6	▲ 2.2	0.3	▲ 2.8	1.3
325 蛋白アミノ酸製剤	57	55	56	54	54	52	52	▲ 4.6	2.3	▲ 3.5	▲ 0.6	▲ 3.6	0.7
33 血液・体液用薬	342	350	392	414	433	393	414	2.3	12.0	5.6	4.6	▲ 9.3	5.4
39 その他の代謝性医薬品	599	630	711	727	777	767	816	5.2	12.8	2.2	6.9	▲ 1.3	6.4
396 糖尿病用剤	261	287	340	351	382	383	409	10.1	18.4	3.2	9.1	0.0	7.0
399 他に分類されない代謝性医薬品	266	271	293	296	312	307	328	1.6	8.3	1.1	5.3	▲ 1.5	6.6
42 腫瘍用薬	264	264	281	304	344	352	386	▲ 0.2	6.7	8.1	13.2	2.2	9.6
422 代謝拮抗剤	65	61	60	54	52	47	42	▲ 5.3	▲ 1.0	▲ 11.3	▲ 3.2	▲ 8.6	▲ 11.7
429 その他の腫瘍用薬	191	194	213	242	285	297	337	1.6	9.4	14.0	17.5	4.4	13.3
44 アレルギー用薬	372	357	353	341	351	306	298	▲ 4.3	▲ 1.0	▲ 3.3	2.7	▲ 12.8	▲ 2.5
52 漢方製剤	111	118	125	130	135	135	140	6.1	5.5	4.4	3.7	▲ 0.1	3.9
61 抗生物質製剤	140	125	123	111	108	93	85	▲ 10.9	▲ 1.6	▲ 9.2	▲ 2.7	▲ 13.8	▲ 8.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	63	57	56	52	51	43	39	▲ 9.8	▲ 2.7	▲ 7.0	▲ 1.9	▲ 15.4	▲ 10.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	65	56	52	43	43	35	30	▲ 14.1	▲ 7.7	▲ 16.4	▲ 0.8	▲ 18.9	▲ 13.7
62 化学療法剤	187	180	186	227	580	391	295	▲ 3.6	3.2	22.2	155.1	▲ 32.5	▲ 24.5
624 合成抗菌剤	57	57	55	52	49	41	36	0.0	▲ 2.3	▲ 5.6	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 10.8
625 抗ウイルス剤	94	92	99	148	505	328	236	▲ 2.5	8.0	48.4	242.5	▲ 35.1	▲ 28.0

注）表示していない項目（薬効）があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方せん1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.60と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.45となっている。伸び率は、漢方製剤が＋3.1%で最も高く、抗生物質製剤が▲9.1%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤種類数

	実数							対前年度比(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 総数	2.90	2.90	2.90	2.88	2.86	2.83	2.81	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0
11 中枢神経系用薬	0.46	0.46	0.47	0.46	0.46	0.45	0.45	▲ 0.1	1.5	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.7	0.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	▲ 1.8	0.1	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.4	▲ 1.8
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10	0.5	1.0	0.5	▲ 0.0	▲ 1.0	0.1
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 2.0	0.5	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 2.0	▲ 2.4
117 精神神経用剤	0.13	0.12	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	▲ 1.8	0.7	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 0.1
119 その他中枢神経系用薬	0.02	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	22.6	17.0	12.3	9.8	8.7	8.1
21 循環器官用薬	0.62	0.62	0.62	0.61	0.61	0.60	0.60	▲ 0.3	1.2	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 0.4
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	1.2	3.7	1.8	1.4	2.6	2.5
214 血圧降下剤	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.20	0.1	0.8	▲ 2.5	▲ 2.3	▲ 1.1	▲ 1.4
217 血管拡張剤	0.16	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	▲ 2.5	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 0.6	▲ 0.6
218 高脂血症用剤	0.12	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	2.7	4.5	1.5	1.2	1.6	1.3
22 呼吸器官用薬	0.27	0.27	0.26	0.26	0.26	0.27	0.25	▲ 1.3	▲ 3.0	▲ 0.3	1.5	1.2	▲ 4.1
23 消化器官用薬	0.48	0.49	0.48	0.48	0.47	0.46	0.45	0.8	▲ 0.7	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 2.3
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.25	0.25	0.24	0.24	0.23	0.23	▲ 0.4	0.2	▲ 2.0	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 2.3
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	4.3	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 2.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	2.4	1.9	2.2	1.5	0.9	0.6
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 5.5	0.6	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.9	0.1
32 滋養強壮薬	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	▲ 1.7	0.9	1.6	1.0	2.3	1.9
325 蛋白アミノ酸製剤	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	3.8	3.7	1.1	1.2	2.9	2.3
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.5	1.7	▲ 0.1	▲ 0.5	1.2	0.1
39 その他の代謝性医薬品	0.21	0.22	0.23	0.23	0.23	0.22	0.22	1.5	3.6	2.2	▲ 0.6	▲ 4.8	0.9
396 糖尿病用剤	0.10	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	4.9	7.1	5.5	1.5	0.8	1.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.9	0.9	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 1.0
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲ 2.0	1.2	1.3	1.4	0.9	0.9
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 6.1	▲ 2.2	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 3.9	▲ 3.4
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.4	3.1	4.6	4.4	3.2	2.7
44 アレルギー用薬	0.21	0.21	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	▲ 0.3	▲ 3.5	1.1	▲ 1.1	▲ 0.1	1.3
52 漢方製剤	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	7.4	3.5	3.6	3.1	3.0	3.1
61 抗生物質製剤	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.10	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 2.0	▲ 0.8	▲ 4.3	▲ 9.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	▲ 2.9	▲ 2.0	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 5.7	▲ 7.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 6.3	▲ 7.3	▲ 4.3	0.9	▲ 3.3	▲ 13.0
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	1.1	▲ 2.2	0.2	1.6	▲ 3.1	▲ 2.5
624 合成抗菌剤	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	6.4	▲ 3.8	▲ 1.3	3.0	▲ 2.5	▲ 8.8
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲ 11.8	0.1	8.2	3.3	▲ 7.0	13.1

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の41.3日であり、最も短いのは抗生物質製剤の6.7日である。伸び率は、アレルギー用薬が＋3.8%で最も高く、血液・体液用薬が＋0.2%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)							対前年度比(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 総数	20.5	21.1	21.8	22.3	22.8	23.1	23.6	3.1	3.5	2.3	1.9	1.5	2.1
11 中枢神経系用薬	19.6	20.3	20.8	21.4	21.7	21.9	22.1	3.4	2.7	2.6	1.8	0.8	0.9
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	21.5	22.1	22.5	23.0	23.4	23.6	23.9	2.5	2.0	2.2	1.8	1.1	0.9
114 解熱鎮痛消炎剤	13.8	14.3	14.8	15.3	15.6	15.9	16.2	3.5	4.1	3.3	2.0	1.4	2.1
116 抗パーキンソン剤	24.9	25.4	25.7	26.5	27.2	27.5	27.8	1.9	1.4	3.1	2.4	1.1	1.3
117 精神神経用剤	22.3	22.9	23.3	23.8	24.2	24.1	23.9	2.4	1.9	2.0	1.7	▲ 0.4	▲ 0.9
119 その他中枢神経系用薬	21.0	23.0	23.8	24.5	24.7	25.0	25.3	9.9	3.4	2.9	1.1	1.0	1.0
21 循環器官用薬	28.6	29.4	30.1	30.8	31.4	31.8	32.3	3.0	2.4	2.2	2.2	1.2	1.5
212 不整脈用剤	29.1	30.1	30.8	31.5	32.2	32.6	33.0	3.2	2.4	2.2	2.1	1.2	1.3
214 血圧降下剤	29.4	30.3	31.1	31.7	32.5	32.9	33.4	3.1	2.6	2.2	2.2	1.2	1.6
217 血管拡張剤	28.7	29.5	30.2	30.9	31.5	31.9	32.4	2.7	2.4	2.1	2.1	1.1	1.5
218 高脂血症用剤	30.3	31.2	31.9	32.6	33.4	33.8	34.3	3.1	2.2	2.2	2.3	1.2	1.7
22 呼吸器官用薬	7.9	8.0	8.2	8.3	8.3	8.3	8.5	1.7	2.1	1.3	0.9	▲ 0.1	1.8
23 消化器官用薬	20.7	21.1	21.9	22.5	22.9	23.2	23.7	1.5	4.0	2.6	1.8	1.3	2.2
232 消化性潰瘍用剤	22.3	22.9	23.6	24.2	24.6	25.0	25.4	2.6	3.2	2.5	1.6	1.7	1.7
239 その他の消化器官用薬	19.5	19.2	20.3	21.0	21.5	21.5	22.2	▲ 1.3	5.6	3.5	2.1	0.3	2.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	29.4	30.1	31.1	31.7	32.5	33.0	33.4	2.3	3.3	1.8	2.6	1.5	1.2
31 ビタミン剤	24.0	24.9	25.7	26.4	27.0	27.4	27.9	3.8	3.0	2.6	2.5	1.6	1.7
32 滋養強壮薬	23.9	24.4	24.8	25.4	25.9	26.1	26.4	1.7	1.9	2.5	2.1	0.6	1.0
325 蛋白アミノ酸製剤	19.9	20.0	20.2	20.5	20.7	20.4	20.3	0.9	0.9	1.4	0.7	▲ 1.2	▲ 0.3
33 血液・体液用薬	25.2	25.8	26.4	26.7	27.0	26.9	26.9	2.5	2.2	1.2	1.0	▲ 0.5	0.2
39 その他の代謝性医薬品	23.8	24.8	25.7	26.3	27.3	28.9	29.4	4.4	3.6	2.3	4.0	5.7	1.7
396 糖尿病用剤	30.1	31.1	31.8	31.9	32.8	33.3	33.7	3.4	2.2	0.4	2.8	1.4	1.2
399 他に分類されない代謝性医薬品	14.7	14.6	14.7	14.9	15.3	15.5	15.8	▲ 0.8	0.5	1.9	2.5	1.5	1.9
42 腫瘍用薬	36.4	37.5	38.5	38.8	39.5	40.6	41.3	3.0	2.6	0.8	2.0	2.7	1.8
422 代謝拮抗剤	20.0	20.1	20.0	19.9	20.1	20.2	20.3	0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	0.7	0.7	0.2
429 その他の腫瘍用薬	45.9	47.0	47.9	47.6	47.8	48.7	49.1	2.4	2.1	▲ 0.8	0.6	1.7	0.9
44 アレルギー用薬	14.4	15.1	15.6	16.2	16.7	17.1	17.7	4.9	3.2	3.7	2.9	2.3	3.8
52 漢方製剤	19.1	19.7	20.2	20.5	20.8	20.8	21.0	3.0	2.7	1.5	1.1	0.3	0.9
61 抗生物質製剤	5.9	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.7	2.5	2.9	1.6	1.1	0.6	3.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	1.2	1.4	1.0	1.9	0.1	1.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	7.2	7.5	7.8	8.0	8.0	8.0	8.5	4.0	4.7	2.6	0.2	▲ 0.0	5.4
62 化学療法剤	9.4	9.5	9.9	10.1	10.2	10.3	10.6	1.0	3.9	2.0	1.0	1.2	2.7
624 合成抗菌剤	5.2	5.2	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	▲ 0.4	1.4	0.8	0.6	▲ 0.1	1.4
625 抗ウイルス剤	9.1	10.1	10.6	11.0	12.0	12.1	11.3	11.5	5.2	4.0	8.5	1.2	▲ 7.3

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,582円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の24円であった。
伸び率は、腫瘍用薬が＋6.8%で最も高く、化学療法剤が▲24.6%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 総数	89	85	87	86	93	85	84	▲ 4.7	3.2	▲ 1.9	8.6	▲ 9.1	▲ 0.4
11 中枢神経系用薬	88	88	92	94	97	93	97	▲ 0.4	5.3	1.6	4.0	▲ 4.3	4.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	30	28	28	25	25	23	23	▲ 6.2	▲ 1.5	▲ 10.0	▲ 0.5	▲ 8.5	1.0
114 解熱鎮痛消炎剤	68	67	71	72	73	73	73	▲ 2.0	5.1	2.2	1.8	▲ 0.8	0.7
116 抗パーキンソン剤	159	161	169	178	187	189	194	0.9	4.9	5.4	5.5	1.1	2.6
117 精神神経用剤	97	99	103	105	109	107	113	1.2	4.1	2.0	3.9	▲ 2.1	6.3
119 その他中枢神経系用薬	415	325	311	283	273	233	226	▲ 21.8	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 14.7	▲ 3.1
21 循環器官用薬	83	76	77	71	71	63	60	▲ 8.4	0.9	▲ 7.5	▲ 0.9	▲ 11.2	▲ 4.0
212 不整脈用剤	96	83	79	69	64	53	49	▲ 13.1	▲ 5.0	▲ 12.8	▲ 6.7	▲ 17.1	▲ 7.4
214 血圧降下剤	109	100	101	93	90	78	72	▲ 7.8	0.9	▲ 7.7	▲ 3.6	▲ 12.9	▲ 8.5
217 血管拡張剤	51	44	43	36	35	29	28	▲ 13.9	▲ 2.7	▲ 14.4	▲ 3.6	▲ 17.7	▲ 2.9
218 高脂血症用剤	95	84	83	76	76	68	65	▲ 11.7	▲ 0.4	▲ 9.3	0.4	▲ 10.4	▲ 4.3
22 呼吸器官用薬	33	30	30	27	27	25	24	▲ 8.7	▲ 1.0	▲ 8.4	▲ 1.2	▲ 8.8	▲ 1.6
23 消化器官用薬	52	47	49	46	47	44	47	▲ 8.6	3.7	▲ 5.6	2.5	▲ 6.0	4.9
232 消化性潰瘍用剤	68	61	63	58	59	55	58	▲ 10.7	3.8	▲ 8.1	2.8	▲ 7.8	5.0
239 その他の消化器官用薬	92	89	90	88	87	81	86	▲ 3.3	1.4	▲ 2.7	▲ 0.4	▲ 6.8	5.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	141	133	134	132	131	123	125	▲ 5.7	0.6	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 6.0	1.0
31 ビタミン剤	40	40	42	42	43	42	43	0.0	5.1	0.4	2.6	▲ 2.1	1.8
32 滋養強壮薬	110	105	105	98	96	90	89	▲ 4.7	▲ 0.2	▲ 6.0	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 1.6
325 蛋白アミノ酸製剤	581	529	518	487	475	451	445	▲ 8.8	▲ 2.2	▲ 6.0	▲ 2.4	▲ 5.1	▲ 1.3
33 血液・体液用薬	97	97	104	109	113	102	107	▲ 0.7	7.8	4.4	4.1	▲ 9.9	5.0
39 その他の代謝性医薬品	118	117	123	120	124	122	126	▲ 0.8	5.1	▲ 2.2	3.4	▲ 2.0	3.7
396 糖尿病用剤	90	91	99	96	101	99	103	1.5	8.2	▲ 2.5	4.5	▲ 2.1	4.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	331	336	358	362	377	370	391	1.5	6.7	1.0	4.2	▲ 1.9	5.6
42 腫瘍用薬	1,274	1,259	1,295	1,370	1,501	1,481	1,582	▲ 1.2	2.8	5.8	9.5	▲ 1.3	6.8
422 代謝拮抗剤	1,741	1,753	1,779	1,656	1,660	1,569	1,433	0.7	1.5	▲ 6.9	0.2	▲ 5.5	▲ 8.7
429 その他の腫瘍用薬	1,156	1,143	1,187	1,305	1,459	1,451	1,586	▲ 1.1	3.9	9.9	11.8	▲ 0.6	9.3
44 アレルギー用薬	123	113	112	103	104	89	82	▲ 8.5	▲ 0.6	▲ 7.7	0.9	▲ 14.7	▲ 7.3
52 漢方製剤	89	86	85	84	84	81	81	▲ 4.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 3.3	▲ 0.1
61 抗生物質製剤	187	169	169	154	149	134	130	▲ 9.4	▲ 0.4	▲ 8.8	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 2.8
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	199	182	179	166	162	145	138	▲ 8.2	▲ 2.0	▲ 7.2	▲ 2.6	▲ 10.4	▲ 4.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	178	157	149	127	125	105	99	▲ 11.9	▲ 4.9	▲ 14.9	▲ 1.8	▲ 16.1	▲ 5.9
62 化学療法剤	510	482	489	584	1,451	998	752	▲ 5.6	1.5	19.4	148.5	▲ 31.2	▲ 24.6
624 合成抗菌剤	458	433	433	411	375	317	306	▲ 5.6	0.2	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 15.4	▲ 3.5
625 抗ウイルス剤	1,234	1,223	1,254	1,653	5,052	3,482	2,388	▲ 0.9	2.5	31.8	205.5	▲ 31.1	▲ 31.4

注)表示していない項目(薬効)がある。

10－1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬　後発医薬品処方せん1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が327円と最も高く、次いで消化器官用薬が160円となっている。伸び率は、循環器官用薬が＋26.8%で最も高く、ビタミン剤が▲2.6%で最も低い。

表10-1　内服薬　薬効分類別処方せん1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬　総数	477	564	679	794	924	927	1,076	18.0	20.6	16.8	16.4	0.4	16.0
11 中枢神経系用薬	30	54	74	88	101	107	120	83.5	36.5	18.9	14.1	6.2	12.2
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	6	9	13	15	17	17	19	54.9	38.5	21.0	10.8	2.7	6.5
114 解熱鎮痛消炎剤	7	8	9	12	13	14	16	15.5	14.3	25.9	8.5	11.2	8.0
116 抗パーキンソン剤	2	2	3	3	3	4	5	4.8	19.0	21.5	11.3	20.5	30.9
117 精神神経用剤	8	13	20	22	26	33	39	59.5	49.5	12.3	15.4	28.2	19.5
119 その他中枢神経系用薬	3	19	26	31	37	33	35	441.5	42.3	19.3	17.7	▲ 11.6	7.3
21 循環器官用薬	120	147	177	219	265	258	327	22.1	20.6	23.9	20.9	▲ 2.6	26.8
212 不整脈用剤	7	8	9	11	13	14	15	14.5	19.2	18.8	16.0	6.4	12.4
214 血圧降下剤	15	20	27	53	81	84	125	33.7	37.4	95.7	53.0	3.8	48.6
217 血管拡張剤	56	60	70	73	79	72	77	7.1	15.2	4.2	9.1	▲ 8.5	6.3
218 高脂血症用剤	28	45	56	67	74	68	87	60.2	24.8	18.4	11.9	▲ 9.2	29.3
22 呼吸器官用薬	10	12	13	17	19	22	23	20.7	10.1	32.8	12.4	10.5	5.1
23 消化器官用薬	95	111	130	146	160	156	160	17.3	16.8	12.4	9.0	▲ 2.4	2.6
232 消化性潰瘍用剤	65	79	92	102	112	104	106	20.0	16.8	11.4	9.3	▲ 6.9	1.7
239 その他の消化器官用薬	2	3	6	8	11	13	14	50.2	106.8	45.7	28.4	25.0	8.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	10	11	12	12	16	16	16	9.7	11.4	1.8	30.7	0.2	4.8
31 ビタミン剤	46	41	40	38	37	33	33	▲ 11.4	▲ 1.2	▲ 5.5	▲ 2.8	▲ 9.7	▲ 2.6
32 滋養強壮薬	3	3	3	3	4	4	5	6.5	9.5	16.2	13.0	9.3	9.0
325 蛋白アミノ酸製剤	1	1	2	2	2	2	2	0.2	9.7	4.7	11.4	0.5	7.7
33 血液・体液用薬	39	43	51	60	80	88	97	11.4	17.0	18.5	32.4	10.4	10.1
39 その他の代謝性医薬品	49	55	65	73	85	80	90	12.0	19.1	12.3	15.7	▲ 5.4	13.0
396 糖尿病用剤	23	26	28	28	33	26	29	11.0	8.3	▲ 1.7	18.3	▲ 21.4	12.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	13	16	24	31	38	42	48	24.3	48.0	29.7	22.1	9.8	13.6
42 腫瘍用薬	18	20	27	28	33	31	39	10.2	33.9	3.8	19.5	▲ 5.3	23.0
422 代謝拮抗剤	0	0	0	1	1	1	5	▲ 24.4	7586.0	47.7	▲ 5.2	0.8	682.5
429 その他の腫瘍用薬	18	20	26	27	32	31	33	10.3	32.0	3.1	20.7	▲ 5.2	8.8
44 アレルギー用薬	27	34	50	61	69	75	98	24.7	48.6	21.3	12.4	10.0	30.0
52 漢方製剤	－	－	－	－	－	－	－	・	・	・	・	・	・
61 抗生物質製剤	13	15	17	23	26	26	27	20.0	15.6	30.4	13.5	0.9	2.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4	5	6	9	10	11	11	38.7	18.6	41.3	14.7	2.5	4.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8	9	10	13	14	14	13	12.6	14.4	25.8	13.0	▲ 2.9	▲ 4.0
62 化学療法剤	14	13	14	17	23	21	25	▲ 9.2	8.9	25.7	32.9	▲ 8.9	17.1
624 合成抗菌剤	4	4	3	4	10	9	9	▲ 15.2	▲ 5.1	26.4	130.3	▲ 11.7	1.3
625 抗ウイルス剤	2	1	2	5	6	6	9	▲ 24.4	60.7	149.6	13.1	▲ 2.9	52.2

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

１０－２. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の43.4%が最も高く、次いでアレルギー用薬の32.9%となっている。対前年度差は、アレルギー用薬が＋8.2%で最も高く、ビタミン剤が▲1.8%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)							対前年度差(%)					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内服薬 総数	9.0	10.9	12.3	14.4	15.2	16.7	19.2	1.8	1.4	2.1	0.9	1.5	2.5
11 中枢神経系用薬	3.7	6.7	8.3	9.6	10.4	11.5	12.3	2.9	1.6	1.3	0.8	1.1	0.8
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	6.7	11.0	15.2	20.8	23.6	26.8	28.5	4.3	4.2	5.6	2.7	3.2	1.7
114 解熱鎮痛消炎剤	7.4	8.3	8.6	10.2	10.7	12.0	12.5	1.0	0.3	1.6	0.5	1.3	0.6
116 抗パーキンソン剤	2.9	3.0	3.4	3.9	4.1	5.0	6.4	0.1	0.3	0.5	0.2	0.8	1.4
117 精神神経用剤	3.0	4.7	6.6	7.3	8.1	10.8	12.3	1.7	1.9	0.7	0.8	2.7	1.5
119 その他中枢神経系用薬	1.6	8.2	10.0	11.4	12.5	11.8	11.9	6.6	1.9	1.4	1.1	▲ 0.7	0.2
21 循環器官用薬	8.2	10.6	12.2	16.3	19.7	21.4	28.0	2.4	1.6	4.0	3.4	1.7	6.6
212 不整脈用剤	8.7	10.9	12.9	16.9	20.4	25.2	29.4	2.3	2.0	4.0	3.4	4.8	4.2
214 血圧降下剤	2.1	3.0	3.9	8.4	13.3	15.9	25.7	0.9	0.9	4.4	5.0	2.5	9.9
217 血管拡張剤	24.9	30.9	36.1	44.0	49.9	55.2	59.9	6.0	5.1	8.0	5.9	5.3	4.7
218 高脂血症用剤	7.8	13.4	15.8	19.8	21.3	21.0	27.6	5.6	2.3	4.1	1.5	▲ 0.3	6.6
22 呼吸器官用薬	14.0	18.5	20.7	29.8	33.1	39.7	43.4	4.5	2.3	9.0	3.3	6.6	3.7
23 消化器官用薬	18.4	23.0	25.1	29.6	31.5	32.9	32.3	4.6	2.1	4.5	1.9	1.4	▲ 0.7
232 消化性潰瘍用剤	17.3	22.7	24.8	29.9	31.9	32.6	31.8	5.5	2.0	5.1	2.0	0.7	▲ 0.8
239 その他の消化器官用薬	2.6	3.9	7.7	11.4	14.8	20.0	20.7	1.3	3.8	3.7	3.3	5.2	0.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	6.4	7.1	7.5	7.5	9.4	9.8	10.0	0.7	0.4	▲ 0.0	1.9	0.4	0.2
31 ビタミン剤	46.2	41.6	37.7	34.8	32.4	29.7	28.0	▲ 4.5	▲ 3.9	▲ 3.0	▲ 2.3	▲ 2.7	▲ 1.8
32 滋養強壮薬	3.9	4.4	4.7	5.5	6.2	7.0	7.5	0.5	0.3	0.9	0.7	0.8	0.5
325 蛋白アミノ酸製剤	2.6	2.7	2.9	3.2	3.5	3.7	4.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3
33 血液・体液用薬	11.4	12.4	13.0	14.6	18.4	22.4	23.4	1.0	0.5	1.6	3.9	4.0	1.0
39 その他の代謝性医薬品	8.1	8.7	9.1	10.1	10.9	10.4	11.1	0.5	0.5	0.9	0.8	▲ 0.5	0.6
396 糖尿病用剤	9.0	9.1	8.3	7.9	8.6	6.7	7.1	0.1	▲ 0.8	▲ 0.4	0.7	▲ 1.8	0.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	4.9	6.1	8.3	10.6	12.3	13.7	14.6	1.1	2.2	2.3	1.7	1.4	0.9
42 腫瘍用薬	6.9	7.6	9.5	9.1	9.6	8.9	10.0	0.7	1.9	▲ 0.4	0.5	▲ 0.7	1.1
422 代謝拮抗剤	0.0	0.0	0.8	1.3	1.2	1.4	12.1	▲ 0.0	0.7	0.5	▲ 0.0	0.1	10.7
429 その他の腫瘍用薬	9.4	10.2	12.3	11.1	11.4	10.3	9.9	0.8	2.1	▲ 1.2	0.3	▲ 1.0	▲ 0.4
44 アレルギー用薬	7.3	9.5	14.3	17.9	19.6	24.7	32.9	2.2	4.8	3.6	1.7	5.1	8.2
52 漢方製剤	－	－	－	－	－	－	－	・	・	・	・	・	・
61 抗生物質製剤	9.0	12.1	14.2	20.4	23.8	27.9	31.3	3.1	2.1	6.2	3.4	4.1	3.5
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	6.1	9.4	11.5	17.5	20.5	24.8	28.7	3.3	2.1	6.0	3.0	4.3	3.9
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	11.9	15.6	19.3	29.0	33.0	39.5	44.0	3.7	3.7	9.7	4.0	6.5	4.4
62 化学療法剤	7.5	7.0	7.4	7.6	4.0	5.4	8.3	▲ 0.4	0.4	0.2	▲ 3.7	1.4	3.0
624 合成抗菌剤	7.3	6.2	6.0	8.1	19.7	21.1	24.0	▲ 1.1	▲ 0.2	2.0	11.6	1.4	2.9
625 抗ウイルス剤	1.9	1.5	2.2	3.6	1.2	1.8	3.8	▲ 0.4	0.7	1.5	▲ 2.4	0.6	2.0

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も高い石川県では、技術料の割合が22.7%、薬剤料の割合が77.1%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が29.0%、薬剤料の割合が70.9%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が＋2.9%(最高:沖縄県＋6.4%、最低:佐賀県▲0.8%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は＋16.9%(最高:徳島県＋20.9%、最低:鹿児島県＋13.3%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳　　平成29年度

	総額 (単位:億円)								処方せん1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
		技術料	構成割合(%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合(%)	特定保険医療材料料	構成割合(%)		技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料料
全国	76,664	19,122	24.9	57,413	10,092	74.9	130	0.2	9,187	2,292	6,880	1,209	16
北海道	3,837	852	22.2	2,979	560	77.6	6	0.2	10,885	2,417	8,451	1,590	17
青森	971	238	24.5	731	136	75.3	2	0.2	9,492	2,324	7,147	1,334	20
岩手	861	203	23.6	656	137	76.2	1	0.1	9,961	2,354	7,593	1,584	15
宮城	1,491	374	25.1	1,114	208	74.7	3	0.2	9,108	2,285	6,807	1,272	16
秋田	828	187	22.6	639	118	77.2	2	0.2	10,596	2,399	8,176	1,516	21
山形	718	182	25.4	534	104	74.4	2	0.2	9,218	2,338	6,860	1,338	20
福島	1,242	299	24.1	941	171	75.8	2	0.1	9,893	2,384	7,497	1,366	12
茨城	1,768	402	22.7	1,363	236	77.1	3	0.2	10,210	2,321	7,872	1,366	17
栃木	1,052	263	25.0	788	145	74.8	2	0.1	8,934	2,235	6,686	1,233	13
群馬	1,014	246	24.3	766	143	75.5	2	0.2	9,447	2,294	7,137	1,331	16
埼玉	3,957	993	25.1	2,958	543	74.8	6	0.2	8,945	2,245	6,686	1,227	14
千葉	3,517	847	24.1	2,663	474	75.7	7	0.2	9,325	2,246	7,062	1,258	17
東京	8,947	2,238	25.0	6,694	1,063	74.8	14	0.2	8,825	2,208	6,603	1,048	14
神奈川	5,581	1,410	25.3	4,163	707	74.6	8	0.1	8,778	2,217	6,548	1,111	13
新潟	1,391	356	25.6	1,033	204	74.2	3	0.2	9,073	2,320	6,735	1,333	18
富山	551	129	23.4	421	78	76.4	1	0.2	10,310	2,411	7,876	1,453	22
石川	650	148	22.7	501	87	77.1	1	0.2	10,906	2,479	8,408	1,461	20
福井	363	81	22.2	281	51	77.5	1	0.3	10,902	2,422	8,444	1,525	36
山梨	529	123	23.3	405	68	76.5	1	0.2	9,729	2,270	7,441	1,243	18
長野	1,278	304	23.8	972	186	76.1	2	0.2	10,298	2,448	7,833	1,500	17
岐阜	1,143	295	25.8	846	151	74.0	2	0.2	8,836	2,280	6,543	1,164	13
静岡	2,147	555	25.9	1,589	293	74.0	3	0.2	8,790	2,273	6,502	1,198	14
愛知	3,881	998	25.7	2,877	501	74.1	6	0.2	8,783	2,259	6,511	1,133	13
三重	963	249	25.9	712	132	74.0	2	0.2	8,848	2,287	6,546	1,209	14
滋賀	775	187	24.1	585	103	75.5	3	0.4	9,637	2,322	7,280	1,285	35
京都	1,436	316	22.0	1,117	170	77.7	4	0.3	10,854	2,386	8,437	1,282	31
大阪	5,298	1,311	24.8	3,978	638	75.1	9	0.2	9,454	2,340	7,098	1,138	16
兵庫	3,419	876	25.6	2,538	423	74.2	5	0.1	9,007	2,308	6,686	1,113	13
奈良	643	174	27.1	468	87	72.8	1	0.1	8,632	2,342	6,281	1,167	9
和歌山	534	126	23.7	406	64	76.1	1	0.3	9,928	2,351	7,552	1,196	25
鳥取	359	88	24.4	271	47	75.4	1	0.2	9,810	2,391	7,401	1,296	18
島根	468	122	26.1	345	67	73.7	1	0.2	9,416	2,457	6,940	1,340	19
岡山	1,009	269	26.6	739	136	73.2	2	0.2	8,697	2,316	6,365	1,175	16
広島	1,857	479	25.8	1,375	227	74.0	3	0.2	8,911	2,299	6,598	1,088	15
山口	940	248	26.3	691	130	73.5	1	0.1	8,816	2,323	6,482	1,215	11
徳島	423	103	24.3	320	47	75.5	1	0.2	9,686	2,353	7,316	1,082	18
香川	655	158	24.1	495	79	75.6	2	0.4	9,723	2,339	7,348	1,180	36
愛媛	772	185	24.0	585	99	75.8	1	0.2	9,563	2,295	7,250	1,228	18
高知	506	114	22.6	391	64	77.3	1	0.1	10,714	2,419	8,283	1,362	12
福岡	3,163	868	27.4	2,291	393	72.4	4	0.1	8,133	2,231	5,891	1,012	11
佐賀	566	164	29.0	401	73	70.9	1	0.1	7,877	2,286	5,582	1,010	9
長崎	938	244	26.0	693	128	73.9	2	0.2	9,001	2,338	6,649	1,224	15
熊本	1,044	280	26.8	762	145	73.0	2	0.2	8,435	2,262	6,159	1,174	14
大分	765	192	25.1	573	104	74.9	1	0.1	9,403	2,355	7,039	1,278	8
宮崎	695	185	26.7	509	102	73.2	1	0.1	8,493	2,264	6,218	1,245	11
鹿児島	979	275	28.1	703	154	71.8	1	0.1	8,331	2,341	5,980	1,307	10
沖縄	740	186	25.2	551	116	74.5	2	0.3	9,093	2,289	6,774	1,420	30

平成29年度

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 （対前年度比）

（単位：%）

	総　額								処方せん1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
		技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険医療材料料	構成割合		技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料料
全　国	3.1	3.4	0.1	2.9	16.9	▲ 0.1	1.6	▲ 0.0	1.9	2.3	1.8	15.6	0.5
北海道	2.5	2.5	0.0	2.4	15.0	▲ 0.0	5.8	0.0	2.5	2.5	2.5	15.0	5.9
青　森	1.9	2.4	0.1	1.8	14.4	▲ 0.1	▲ 2.3	▲ 0.0	1.8	2.2	1.7	14.2	▲ 2.5
岩　手	3.8	3.7	▲ 0.0	3.9	15.0	0.0	▲ 4.7	▲ 0.0	2.1	2.0	2.2	13.1	▲ 6.3
宮　城	3.2	3.3	0.0	3.2	16.4	▲ 0.0	10.8	0.0	2.9	2.9	2.9	16.0	10.4
秋　田	1.0	0.9	▲ 0.0	1.0	14.5	0.0	▲ 6.0	▲ 0.0	2.4	2.4	2.4	16.1	▲ 4.7
山　形	2.1	1.9	▲ 0.0	2.2	13.6	0.1	▲ 3.1	▲ 0.0	2.5	2.3	2.6	13.9	▲ 2.7
福　島	1.7	2.8	0.3	1.3	16.0	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.0	1.5	2.6	1.2	15.8	▲ 1.0
茨　城	2.3	3.3	0.2	2.0	17.3	▲ 0.2	7.5	0.0	1.4	2.4	1.1	16.3	6.5
栃　木	4.2	4.2	▲ 0.0	4.3	19.9	0.0	4.5	0.0	2.8	2.8	2.8	18.3	3.0
群　馬	3.3	4.9	0.4	2.8	18.8	▲ 0.4	2.4	▲ 0.0	1.0	2.6	0.5	16.2	0.1
埼　玉	4.3	4.7	0.1	4.1	18.7	▲ 0.1	3.2	▲ 0.0	1.9	2.4	1.8	16.1	0.9
千　葉	3.1	3.7	0.1	2.9	18.0	▲ 0.1	1.5	▲ 0.0	1.7	2.3	1.5	16.4	0.1
東　京	3.2	4.2	0.2	2.8	17.9	▲ 0.2	1.8	▲ 0.0	1.4	2.4	1.0	15.8	▲ 0.0
神奈川	3.3	3.8	0.1	3.1	18.2	▲ 0.1	4.0	0.0	1.9	2.3	1.7	16.6	2.6
新　潟	1.8	1.5	▲ 0.1	1.8	15.0	0.0	8.4	0.0	2.4	2.2	2.5	15.7	9.1
富　山	2.4	3.2	0.2	2.2	17.0	▲ 0.2	4.4	0.0	2.9	3.6	2.7	17.5	4.8
石　川	2.1	3.2	0.2	1.8	17.2	▲ 0.2	▲ 1.7	▲ 0.0	1.6	2.7	1.2	16.6	▲ 2.2
福　井	2.8	2.0	▲ 0.2	3.0	15.4	0.2	2.2	▲ 0.0	3.6	2.8	3.9	16.3	3.0
山　梨	2.3	3.9	0.3	1.9	19.5	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.0	0.6	2.2	0.2	17.5	▲ 2.4
長　野	3.0	3.2	0.0	3.0	14.1	▲ 0.0	▲ 5.7	▲ 0.0	2.0	2.1	1.9	12.9	▲ 6.7
岐　阜	3.4	3.0	▲ 0.1	3.6	16.4	0.1	▲ 5.2	▲ 0.0	2.5	2.2	2.7	15.5	▲ 6.0
静　岡	2.7	3.0	0.1	2.6	16.3	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 0.0	1.6	2.0	1.5	15.0	▲ 7.0
愛　知	4.0	4.2	0.0	4.0	18.5	▲ 0.0	4.7	0.0	2.0	2.1	2.0	16.2	2.7
三　重	3.7	3.8	0.0	3.7	17.4	▲ 0.0	4.3	0.0	2.5	2.6	2.4	15.9	3.1
滋　賀	4.6	5.5	0.2	4.3	19.7	▲ 0.2	1.0	▲ 0.0	1.3	2.2	1.0	15.9	▲ 2.2
京　都	3.6	5.5	0.4	3.1	19.3	▲ 0.4	2.6	▲ 0.0	0.5	2.4	0.0	15.8	▲ 0.4
大　阪	3.6	4.1	0.1	3.5	17.4	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 0.0	1.6	2.0	1.4	15.1	▲ 5.5
兵　庫	3.0	4.0	0.3	2.6	16.6	▲ 0.3	2.6	▲ 0.0	1.7	2.7	1.3	15.2	1.3
奈　良	4.0	4.3	0.1	3.9	15.3	▲ 0.1	2.7	▲ 0.0	1.4	1.7	1.3	12.4	0.1
和歌山	4.9	4.9	▲ 0.0	4.9	20.5	▲ 0.0	10.4	0.0	2.5	2.5	2.5	17.7	7.9
鳥　取	1.0	2.0	0.2	0.7	16.3	▲ 0.3	8.8	0.0	0.6	1.6	0.3	15.8	8.4
島　根	3.6	2.2	▲ 0.4	4.1	14.5	0.4	▲ 3.2	▲ 0.0	3.0	1.6	3.5	13.9	▲ 3.7
岡　山	2.7	3.0	0.1	2.6	15.9	▲ 0.1	2.1	▲ 0.0	1.8	2.1	1.7	15.0	1.2
広　島	2.4	2.0	▲ 0.1	2.5	16.2	0.1	2.0	▲ 0.0	2.6	2.2	2.8	16.4	2.2
山　口	0.7	1.0	0.1	0.5	15.1	▲ 0.1	▲ 1.6	▲ 0.0	1.5	1.9	1.4	16.1	▲ 0.7
徳　島	2.9	3.5	0.1	2.8	20.9	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 0.0	2.3	2.8	2.1	20.1	▲ 4.2
香　川	3.7	3.5	▲ 0.0	3.7	16.5	0.0	12.2	0.0	2.7	2.6	2.7	15.5	11.1
愛　媛	4.5	4.4	▲ 0.0	4.5	18.9	0.0	9.9	0.0	2.7	2.6	2.7	17.0	8.1
高　知	2.2	2.1	▲ 0.0	2.2	15.7	0.0	0.4	▲ 0.0	2.3	2.2	2.3	15.8	0.5
福　岡	2.8	2.3	▲ 0.1	3.0	15.8	0.1	2.6	▲ 0.0	2.7	2.2	2.9	15.7	2.5
佐　賀	▲ 0.1	1.6	0.5	▲ 0.8	15.0	▲ 0.5	8.9	0.0	0.5	2.2	▲ 0.2	15.7	9.6
長　崎	2.4	1.5	▲ 0.2	2.7	14.7	0.3	▲ 7.6	▲ 0.0	3.0	2.1	3.4	15.4	▲ 7.0
熊　本	2.5	2.0	▲ 0.1	2.6	14.1	0.1	3.1	0.0	2.1	1.6	2.3	13.7	2.7
大　分	1.4	2.1	0.2	1.2	15.3	▲ 0.2	▲ 1.7	▲ 0.0	1.3	2.0	1.1	15.1	▲ 1.8
宮　崎	1.6	1.5	▲ 0.0	1.6	13.6	0.0	▲ 2.0	▲ 0.0	2.0	1.9	2.0	14.0	▲ 1.6
鹿児島	2.9	2.3	▲ 0.1	3.1	13.3	0.2	▲ 18.3	▲ 0.0	2.2	1.7	2.5	12.6	▲ 18.8
沖　縄	5.7	3.8	▲ 0.5	6.4	17.5	0.5	1.6	▲ 0.0	3.6	1.7	4.3	15.1	▲ 0.4

注）構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬　処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、福井県が7,096円と最も高く、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.03、26.5日、88円となっていた。一方、佐賀県が4,575円と最も低く、3要素に分解すると、2.86、19.4日、83円となっていた。

表12　都道府県別　内服薬　処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解　　平成29年度

	実　額				対前年度比　(単位:%)			
	処方せん1枚当たり薬剤料　(円)				処方せん1枚当たり薬剤料			
		処方せん1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方せん1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料
全　国	5,590	2.81	23.6	84	0.8	▲ 1.0	2.1	▲ 0.4
北海道	6,943	3.10	27.8	81	1.5	▲ 0.8	2.1	0.1
青　森	5,946	2.90	25.2	81	0.8	▲ 0.8	2.4	▲ 0.8
岩　手	6,335	2.87	28.0	79	1.5	▲ 0.7	1.4	0.8
宮　城	5,494	2.79	24.5	80	1.8	▲ 1.2	2.3	0.8
秋　田	6,795	3.04	28.0	80	1.8	▲ 1.1	2.0	1.0
山　形	5,677	2.76	25.2	81	1.7	▲ 0.4	2.0	0.1
福　島	6,228	2.98	25.8	81	0.2	▲ 1.1	2.1	▲ 0.8
茨　城	6,518	2.85	26.2	87	0.0	▲ 0.9	2.2	▲ 1.2
栃　木	5,541	2.82	23.5	84	1.9	▲ 0.9	3.2	▲ 0.3
群　馬	5,818	2.86	24.2	84	▲ 0.9	▲ 1.1	2.8	▲ 2.6
埼　玉	5,428	2.72	24.0	83	0.8	▲ 0.9	2.2	▲ 0.5
千　葉	5,749	2.67	25.3	85	0.5	▲ 0.8	2.3	▲ 0.9
東　京	5,297	2.67	22.7	87	▲ 0.0	▲ 1.2	1.6	▲ 0.3
神奈川	5,266	2.60	23.6	86	0.5	▲ 0.8	2.0	▲ 0.6
新　潟	5,487	2.64	26.5	79	1.6	▲ 1.1	2.1	0.6
富　山	6,519	2.83	27.1	85	2.0	▲ 0.1	2.3	▲ 0.2
石　川	6,985	3.05	26.4	87	0.3	▲ 1.0	2.2	▲ 0.9
福　井	7,096	3.03	26.5	88	3.4	▲ 0.4	2.6	1.3
山　梨	6,156	2.73	26.5	85	▲ 0.8	▲ 1.2	1.7	▲ 1.3
長　野	6,423	2.83	27.5	83	1.0	▲ 1.3	1.8	0.4
岐　阜	5,285	2.87	22.3	83	1.6	▲ 1.4	2.8	0.2
静　岡	5,236	2.68	24.0	82	0.5	▲ 1.1	2.1	▲ 0.4
愛　知	5,226	2.76	21.8	87	0.8	▲ 1.4	2.4	▲ 0.1
三　重	5,358	2.79	23.1	83	1.2	▲ 0.7	2.2	▲ 0.2
滋　賀	5,874	2.72	25.1	86	▲ 0.2	▲ 1.3	2.1	▲ 0.9
京　都	6,838	2.90	25.3	93	▲ 1.5	▲ 1.4	1.2	▲ 1.3
大　阪	5,728	2.94	21.9	89	0.5	▲ 0.9	1.4	▲ 0.1
兵　庫	5,329	2.73	22.6	86	▲ 0.1	▲ 0.8	1.9	▲ 1.3
奈　良	5,100	2.71	24.0	78	0.8	▲ 1.0	1.8	0.1
和歌山	6,165	2.93	24.4	86	1.7	▲ 0.1	2.3	▲ 0.5
鳥　取	6,204	2.88	23.7	91	▲ 0.9	▲ 1.1	1.9	▲ 1.6
島　根	5,770	3.02	23.7	81	2.3	▲ 1.4	2.7	1.1
岡　山	5,241	2.92	22.2	81	0.5	▲ 1.2	2.6	▲ 0.8
広　島	5,363	2.88	21.3	87	1.6	▲ 1.1	2.9	▲ 0.1
山　口	5,302	2.77	22.6	85	0.4	▲ 0.6	2.8	▲ 1.6
徳　島	6,050	3.00	22.3	90	0.9	▲ 1.0	2.1	▲ 0.2
香　川	5,978	2.81	23.0	92	2.0	▲ 0.9	2.5	0.5
愛　媛	5,898	2.74	24.2	89	1.5	▲ 0.4	2.9	▲ 1.0
高　知	6,944	3.08	26.1	87	1.6	▲ 0.6	2.2	▲ 0.0
福　岡	4,783	2.89	19.9	83	1.8	▲ 0.6	2.6	▲ 0.1
佐　賀	4,575	2.86	19.4	83	▲ 1.6	▲ 1.0	2.9	▲ 3.4
長　崎	5,378	3.02	22.4	80	2.7	▲ 0.7	2.5	0.9
熊　本	5,027	3.04	21.0	79	1.2	▲ 1.5	3.3	▲ 0.5
大　分	5,841	3.11	22.6	83	0.3	▲ 0.9	2.7	▲ 1.5
宮　崎	4,975	2.86	22.4	78	1.4	▲ 0.7	2.5	▲ 0.3
鹿児島	4,879	2.94	22.0	76	2.1	▲ 0.3	2.5	▲ 0.1
沖　縄	5,414	2.77	24.9	78	3.4	0.3	2.7	0.5

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

平成29年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは沖縄県の83.0%であった。また、薬剤料ベースが最も高かったのは鹿児島県の23.3%であった。一方、数量ベース(新指標)、薬剤料ベースが最も低かったのは徳島県であり、それぞれ65.3%、16.2%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは徳島県の＋6.2%、薬剤料ベースが最も高かったのは新潟県の＋3.5%であった。一方、数量ベース(新指標)が最も低かったのは沖縄県の＋3.1%、薬剤料ベースが最も低かったのは愛媛県の＋2.4%であった。

平成30年3月

表13 都道府県別 後発医薬品割合 (単位:%)

	後発医薬品割合			後発医薬品調剤率	対前年同期差			
	数量ベース(新指標)	数量ベース(旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース(新指標)	数量ベース(旧指標)	薬剤料ベース	後発医薬品調剤率
全 国	73.0	50.2	19.0	70.8	4.4	4.8	3.0	3.4
北海道	74.2	51.7	20.1	74.6	4.2	4.7	2.9	3.7
青 森	74.3	51.9	19.9	73.7	3.9	4.5	2.8	2.9
岩 手	79.0	54.4	22.3	75.8	3.9	4.8	3.0	3.2
宮 城	76.1	51.4	20.2	73.6	4.8	5.1	3.1	3.2
秋 田	73.5	50.7	20.2	73.2	4.7	5.0	3.4	3.9
山 形	77.3	53.4	20.9	74.4	4.2	4.6	3.0	3.3
福 島	73.0	50.5	19.7	74.5	5.1	5.1	3.3	3.6
茨 城	72.2	49.6	18.7	69.8	4.1	4.5	3.0	3.2
栃 木	73.9	51.4	20.2	72.9	5.5	5.9	3.4	3.8
群 馬	76.5	53.1	20.0	73.0	4.3	5.1	3.1	3.4
埼 玉	74.1	51.5	20.1	71.3	4.3	5.0	3.3	3.3
千 葉	73.6	50.7	19.4	70.6	4.4	5.0	3.2	3.5
東 京	68.5	45.6	17.2	64.6	4.4	4.6	2.7	3.3
神奈川	71.3	48.6	18.4	66.7	4.2	4.8	3.0	3.4
新 潟	75.7	52.4	21.5	74.6	5.0	5.5	3.5	4.2
富 山	77.1	53.4	20.1	74.8	4.3	5.1	3.3	3.7
石 川	75.4	51.4	18.9	72.6	4.1	4.9	3.1	3.2
福 井	77.4	53.8	19.5	74.9	4.3	4.9	2.8	3.6
山 梨	66.8	45.3	17.4	63.4	5.2	5.3	2.6	3.4
長 野	76.8	53.2	20.4	72.8	4.2	4.9	2.9	3.2
岐 阜	71.8	49.4	19.6	72.2	4.5	4.9	3.0	3.6
静 岡	74.8	52.0	20.2	72.4	4.5	5.2	3.3	3.7
愛 知	73.8	50.3	19.2	72.8	4.8	5.2	3.2	3.8
三 重	74.7	52.3	20.0	72.4	4.4	5.2	2.9	3.1
滋 賀	73.5	51.4	19.5	71.9	4.2	4.8	3.4	3.4
京 都	70.1	48.1	16.5	68.3	4.2	4.7	2.5	3.6
大 阪	70.0	48.3	17.3	68.7	4.6	4.7	2.6	3.4
兵 庫	72.2	50.0	18.1	69.6	4.2	4.8	2.9	3.5
奈 良	71.9	50.9	20.3	69.4	4.1	4.7	3.1	3.5
和歌山	70.0	47.9	17.5	68.5	5.0	5.2	3.1	4.0
鳥 取	77.0	53.2	19.0	72.1	4.4	5.0	3.0	2.8
島 根	77.6	54.4	20.6	74.4	4.2	4.7	2.6	2.8
岡 山	75.2	52.1	19.7	73.0	4.3	4.8	2.7	3.1
広 島	70.9	48.1	18.0	70.7	4.6	4.8	2.9	3.7
山 口	75.5	52.8	20.2	74.5	4.2	4.8	3.2	3.3
徳 島	65.3	45.2	16.2	66.9	6.2	5.9	2.9	5.1
香 川	70.8	48.5	17.1	69.6	4.3	4.4	2.5	3.1
愛 媛	73.6	51.2	17.7	71.6	4.3	4.5	2.4	3.2
高 知	67.5	46.8	17.9	67.8	4.1	4.6	2.6	2.6
福 岡	73.7	50.5	18.6	72.6	4.3	4.7	3.0	3.3
佐 賀	75.6	52.5	19.8	74.7	5.0	5.4	3.4	3.7
長 崎	74.4	51.3	19.6	73.5	4.5	4.8	2.9	3.2
熊 本	75.2	52.9	20.3	76.5	3.8	4.2	2.6	2.7
大 分	73.6	51.6	19.7	73.7	4.7	5.0	3.1	3.2
宮 崎	78.1	54.9	21.3	76.8	4.1	4.8	2.9	3.0
鹿児島	80.7	57.7	23.3	78.8	4.1	4.9	3.0	3.0
沖 縄	83.0	60.3	22.3	80.8	3.1	4.1	3.1	2.1

14. 処方せん発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方せん発行元医療機関別にみると、病院の3兆1,372億円に比べ、診療所が4兆5,048億円と高く、中でも内科が2兆3,867億円と最も高かった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費は、診療所の7,039円に比べ、病院が16,809円と高く、中でも大学病院が28,572円と最も高かった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費は、歯科病院が▲1.4%と減少した一方、その他は上昇した。

平成29年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、病院では73.3%、診療所では72.8%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の78.0%であり、最も低かったのは大学病院の64.4%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは耳鼻咽喉科の＋5.4%であり、最も小さかったのは眼科の＋2.5%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳 （総額）　　平成29年度

		総数	医科																		歯科		
				病院							診療所											病院	診療所
					大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他			
実数	調剤医療費（億円）	76,664	76,420	31,372	5,110	12,977	13,123	162	9,771	21,600	45,048	23,867	1,827	1,788	3,283	2,428	365	1,926	2,767	6,797	161	68	92
	処方せん枚数（受付回数）（万枚）	83,445	82,662	18,663	1,788	6,528	10,189	159	8,161	10,502	63,999	27,305	4,433	2,289	5,708	5,206	655	4,721	6,282	7,399	675	200	475
対前年度比（%）	調剤医療費（億円）	3.1	3.1	2.0	2.6	2.2	1.7	▲ 11.9	2.4	1.8	3.8	3.3	0.6	▲ 0.4	7.1	7.4	3.8	3.7	5.1	4.6	1.2	2.0	0.6
	処方せん枚数（受付回数）（万枚）	1.1	1.1	▲ 0.1	▲ 1.0	▲ 0.0	0.2	▲ 13.0	0.5	▲ 0.5	1.5	1.6	▲ 0.8	▲ 3.1	2.2	2.9	2.2	0.9	2.1	2.4	0.0	3.4	▲ 1.4

注）「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

平成30年3月
（単位：%）

表14-2 後発医薬品割合

		総数	医科																		歯科		
				病院							診療所											病院	診療所
					大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他			
実数	数量ベース（新指標）	73.0	73.0	73.3	64.4	74.5	74.3	71.9	73.8	73.0	72.8	73.8	69.7	73.8	69.8	70.6	78.0	73.1	77.6	69.0	79.3	83.9	74.7
	薬剤料ベース	19.0	19.0	15.6	9.6	14.7	19.4	19.1	20.4	13.7	21.8	22.8	19.4	23.4	19.3	20.3	26.1	16.3	26.4	18.5	30.8	24.4	41.1
対前年同期差	数量ベース（新指標）	4.4	4.4	4.3	4.9	4.3	4.2	2.7	4.6	4.1	4.4	4.5	3.9	4.3	4.6	4.3	5.2	2.5	5.4	3.7	4.5	4.5	4.3
	薬剤料ベース	3.0	3.0	2.4	1.4	2.2	3.1	2.2	3.2	2.0	3.4	4.1	4.5	3.5	1.3	1.3	12.5	0.5	2.4	2.5	3.8	3.5	4.0

注1）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2） 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

表14-3 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合　　平成29年度

		総数	医科																		歯科		
				病院							診療所											病院	診療所
					大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他			
実数（円）	調剤医療費	9,187	9,245	16,809	28,572	19,880	12,880	10,215	11,973	20,568	7,039	8,741	4,121	7,814	5,752	4,663	5,569	4,080	4,404	9,186	2,380	3,411	1,946
	技術料	2,292	2,298	2,580	2,531	2,579	2,590	2,464	2,581	2,579	2,216	2,496	1,995	2,385	1,889	1,887	1,938	1,337	1,965	2,549	1,458	1,524	1,430
	構成割合（%）	24.9	24.9	15.3	8.9	13.0	20.1	24.1	21.6	12.5	31.5	28.6	48.4	30.5	32.8	40.5	34.8	32.8	44.6	27.7	61.3	44.7	73.5
	調剤技術料	1,848	1,856	2,131	2,064	2,126	2,147	2,013	2,146	2,120	1,775	2,069	1,508	1,958	1,453	1,426	1,491	896	1,501	2,108	993	1,066	962
	調剤基本料	656	656	637	583	647	641	632	647	630	662	670	656	665	657	628	685	649	668	664	671	628	688
	調剤料	1,025	1,031	1,263	1,306	1,250	1,264	1,198	1,262	1,263	964	1,232	576	1,152	763	557	746	241	732	1,264	317	424	271
	加算料	167	168	231	174	229	242	183	237	226	150	167	276	141	33	241	60	6	101	180	5	13	2
	薬学管理料	443	443	449	467	453	443	451	436	459	441	427	488	427	436	461	447	441	463	441	465	458	468
	薬剤料	6,880	6,931	14,183	25,937	17,234	10,264	7,738	9,369	17,923	4,816	6,232	2,125	5,425	3,860	2,776	3,630	2,743	2,440	6,634	921	1,883	517
	構成割合（%）	74.9	75.0	84.4	90.8	86.7	79.7	75.8	78.3	87.1	68.4	71.3	51.6	69.4	67.1	59.5	65.2	67.2	55.4	72.2	38.7	55.2	26.5
	内服薬	5,598	5,639	11,859	20,558	14,459	8,750	6,455	7,943	14,902	3,826	5,342	1,407	4,654	2,825	1,261	3,198	206	1,853	6,040	763	1,561	428
	屯服薬他	46	46	71	98	78	62	42	51	87	38	48	16	41	14	3	29	1	12	108	37	50	31
	注射薬	346	348	1,113	3,625	1,385	509	358	432	1,642	126	178	100	89	367	6	35	3	3	50	15	50	1
	外用薬	891	897	1,140	1,656	1,313	943	884	944	1,293	826	664	603	641	654	1,506	369	2,533	572	437	106	222	57
	（再掲）後発医薬品	1,209	1,217	2,092	2,382	2,405	1,851	1,409	1,774	2,339	962	1,285	385	1,170	716	539	754	461	659	1,135	261	415	196
	特定保険医療材料料	16	16	47	103	66	26	13	22	66	6	13	1	4	2	0	1	0	0	3	1	4	0
	構成割合（%）	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
対前年度比（%）	調剤医療費	1.9	1.9	2.1	3.6	2.2	1.4	1.2	1.9	2.3	2.3	1.7	1.4	2.8	4.7	4.3	1.6	2.8	2.9	2.2	1.2	▲ 1.4	2.0
	技術料	2.3	2.3	2.5	2.5	2.6	2.4	2.1	2.5	2.5	2.3	2.1	1.9	2.4	3.0	2.5	2.4	2.9	2.9	1.9	3.2	3.3	3.1
	構成割合（%）	0.1	0.1	0.1	▲ 0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	▲ 0.0	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.7	0.3	0.0	0.0	▲ 0.1	1.2	2.0	0.8
	調剤技術料	2.8	2.8	3.0	3.1	3.1	3.0	2.0	3.1	3.0	2.8	2.5	2.4	3.0	3.8	3.3	3.0	4.4	3.9	2.2	4.6	4.6	4.5
	調剤基本料	7.2	7.2	9.7	11.6	10.4	9.0	10.6	9.1	10.3	6.5	6.5	5.8	7.0	6.6	6.4	6.7	6.4	6.4	6.5	7.0	9.2	6.3
	調剤料	0.5	0.5	0.1	▲ 0.1	▲ 0.0	0.2	▲ 1.2	0.3	▲ 0.0	0.8	0.5	1.1	0.8	1.6	1.2	0.7	▲ 0.4	3.4	0.2	0.1	▲ 1.2	0.2
	加算料	0.8	0.8	2.1	1.6	1.7	2.5	▲ 3.9	2.8	1.6	0.5	2.0	▲ 2.3	2.7	2.6	0.4	▲ 7.0	▲ 2.7	▲ 7.1	1.7	▲ 1.9	▲ 3.0	▲ 5.9
	薬学管理料	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	▲ 0.1	2.6	0.0	0.2	0.0	▲ 0.0	0.3	▲ 0.0	0.3	0.0	0.3	▲ 0.0	▲ 0.1	0.2	0.4	0.2	0.4
	薬剤料	1.8	1.8	2.0	3.7	2.2	1.2	1.0	1.7	2.3	2.3	1.6	1.0	2.9	5.6	5.6	1.1	2.7	2.9	2.3	▲ 1.9	▲ 4.9	▲ 0.9
	構成割合（%）	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	0.6	0.7	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.0	0.1	▲ 1.2	▲ 2.0	▲ 0.8
	内服薬	0.8	0.8	1.0	1.9	1.2	0.5	▲ 0.7	1.1	1.2	1.3	0.8	▲ 3.0	2.3	5.2	3.8	0.8	▲ 1.5	▲ 0.1	2.1	▲ 2.6	▲ 5.9	▲ 1.3
	屯服薬他	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 2.8	0.7	▲ 0.1	4.3	0.5	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.6	2.5	▲ 0.7	3.0	1.3	▲ 2.4	▲ 5.6	4.9	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 0.6
	注射薬	11.3	11.3	12.7	15.4	13.5	8.6	22.4	9.1	13.8	10.8	9.6	10.2	13.7	13.0	8.2	▲ 8.1	0.1	28.6	12.4	21.2	15.5	177.9
	外用薬	5.1	5.1	3.2	3.3	2.5	3.8	6.0	4.0	2.8	6.0	6.4	10.1	6.5	3.6	7.1	5.0	3.1	13.6	4.4	0.6	▲ 2.3	1.3
	（再掲）後発医薬品	15.6	15.6	17.4	20.9	18.3	16.0	10.8	15.4	18.8	14.9	16.5	21.0	14.2	8.7	8.6	58.9	4.9	15.3	13.4	6.6	5.0	6.3
	特定保険医療材料料	0.5	0.5	1.2	▲ 0.0	1.7	1.1	25.8	2.0	1.2	1.2	1.1	17.9	2.7	13.1	▲ 8.1	▲ 23.0	▲ 6.3	78.1	▲ 5.7	9.4	5.6	23.1
	構成割合（%）	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0

注1） 「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算（調剤基本料に係る部分）、及び在宅患者調剤加算を含めている。
注2） 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。
注3） 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
注4） 処方せん発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。
注5） 構成割合は対前年度差を示している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、調剤医療費の総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆6,996億円であった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の12,396円であり、伸び率が最も大きかったのは健保組合の＋2.5%、最も小さかったのは国保組合の＋1.3%であった。

平成29年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、最も高かったのは公費の76.8%、最も低かったのは後期高齢者の70.7%であった。伸び幅が最も大きかったのは共済組合の＋4.7%、最も小さかったのは公費の＋3.4%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳 （総額）　　平成29年度

		総数	医療保険適用計	被用者保険計	協会一般	共済組合	健保組合	国民健康保険計	市町村国保	国保組合	後期高齢者	公費
実数	調剤医療費（億円）	76,664	73,035	25,540	13,451	2,732	9,307	20,499	19,424	1,074	26,996	3,629
実数	処方せん枚数（受付回数）（万枚）	83,445	80,517	35,576	17,919	4,068	13,532	20,982	19,665	1,317	23,958	2,928
対前年度比（%）	調剤医療費	3.1	3.1	5.7	6.8	2.7	5.2	▲ 2.1	▲ 2.2	0.7	4.7	2.9
対前年度比（%）	処方せん枚数（受付回数）	1.1	1.1	3.2	4.2	0.7	2.6	▲ 3.7	▲ 3.9	▲ 0.6	2.6	0.6

注）「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

平成30年3月
（単位：%）

表15-2 後発医薬品割合

		総数	医療保険適用計	被用者保険計	協会一般	共済組合	健保組合	国民健康保険計	市町村国保	国保組合	後期高齢者	公費
実数	数量ベース（新指標）	73.0	72.8	74.5	75.0	73.7	74.1	73.6	73.7	72.0	70.7	76.8
実数	薬剤料ベース	19.0	19.0	19.0	19.2	18.4	18.9	19.0	19.1	17.7	19.1	19.4
対前年同期差	数量ベース（新指標）	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.3	3.4
対前年同期差	薬剤料ベース	3.0	3.0	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.1	2.5	2.2

注1）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2） 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

表15-3 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合　　平成29年度

		総数	医療保険適用計	被用者保険計	協会一般	共済組合	健保組合	国民健康保険計	市町村国保	国保組合	後期高齢者	公費
実数（円）	調剤医療費	9,187	9,071	7,179	7,507	6,715	6,878	9,770	9,878	8,156	11,268	12,396
	技術料	2,292	2,274	2,063	2,090	2,027	2,038	2,272	2,283	2,099	2,591	2,762
	構成割合（%）	24.9	25.1	28.7	27.8	30.2	29.6	23.3	23.1	25.7	23.0	22.3
	調剤技術料	1,848	1,831	1,599	1,628	1,561	1,571	1,825	1,837	1,650	2,181	2,319
	調剤基本料	656	656	662	657	663	667	646	645	661	655	678
	調剤料	1,025	1,013	813	847	765	782	1,057	1,069	875	1,273	1,349
	加算料	167	162	124	124	133	122	123	123	115	253	292
	薬学管理料	443	443	464	462	466	466	446	446	449	410	443
	薬剤料	6,880	6,781	5,104	5,403	4,679	4,830	7,478	7,574	6,041	8,661	9,609
	構成割合（%）	74.9	74.8	71.1	72.0	69.7	70.2	76.5	76.7	74.1	76.9	77.5
	内服薬	5,598	5,510	3,899	4,190	3,460	3,640	6,215	6,313	4,755	7,285	8,009
	屯服薬他	46	43	50	51	52	49	47	46	51	31	108
	注射薬	346	343	375	399	376	344	386	385	397	259	406
	外用薬	891	884	779	764	790	797	830	830	838	1,086	1,085
	（再掲）後発医薬品	1,209	1,189	879	943	775	825	1,304	1,325	979	1,548	1,778
	特定保険医療材料料	16	15	12	14	9	10	20	21	15	16	25
	構成割合（%）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2
対前年度比（%）	調剤医療費	1.9	1.9	2.5	2.5	2.0	2.5	1.7	1.7	1.3	2.0	2.2
	技術料	2.3	2.3	2.5	2.5	2.3	2.5	2.3	2.4	2.3	2.0	2.8
	構成割合（%）	0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	0.1	▲ 0.0	0.1	0.1	0.2	▲ 0.0	0.1
	調剤技術料	2.8	2.8	3.2	3.2	3.0	3.3	2.9	3.0	2.9	2.4	3.2
	調剤基本料	7.2	7.2	7.0	6.9	6.9	7.1	7.3	7.4	7.1	7.2	7.4
	調剤料	0.5	0.5	1.2	1.3	0.7	1.2	0.6	0.6	0.5	0.1	1.1
	加算料	0.8	0.7	▲ 2.5	▲ 2.4	▲ 1.8	▲ 2.9	1.5	1.7	▲ 1.2	1.9	3.9
	薬学管理料	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.1	0.1	0.5
	薬剤料	1.8	1.8	2.5	2.5	1.9	2.6	1.5	1.6	1.0	2.0	2.1
	構成割合（%）	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	0.0	▲ 0.1
	内服薬	0.8	0.8	0.8	0.8	▲ 0.1	0.9	0.5	0.6	▲ 0.8	1.6	1.6
	屯服薬他	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	0.3	▲ 0.6	▲ 0.8	0.5	0.5	0.7	▲ 0.0	▲ 1.8
	注射薬	11.3	11.3	12.2	13.2	10.9	10.8	11.7	11.7	11.0	9.9	10.5
	外用薬	5.1	5.2	7.5	7.3	7.6	7.6	4.7	4.6	7.2	2.9	3.6
	（再掲）後発医薬品	15.6	15.7	18.8	18.8	17.9	18.7	17.0	17.0	17.1	12.8	14.3
	特定保険医療材料料	0.5	0.5	0.5	1.3	▲ 3.4	▲ 0.3	0.8	0.7	3.6	2.2	0.7
	構成割合（%）	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.0

注1） 「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算（調剤基本料に係る部分）、及び在宅患者調剤加算を含めている
注2） 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。
注3） 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
注4） 構成割合は対前年度差を示している。

16. 薬効分類別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の算出対象となる医薬品（後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品）の構成割合をみると、循環器官用薬が22.2%と最も大きく、次いで消化器官用薬が19.8%を占めていた。また、これらの薬効分類における平成29年度末時点の後発医薬品割合は、それぞれ74.1%、83.6%であった。

表16 薬効分類別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）　（単位：%）

	平成29年度													構成割合①(%)	構成割合②(%)
	4月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総数	70.2	68.8	69.0	69.2	68.6	69.1	69.6	69.4	70.2	70.9	71.9	72.5	73.0	100.0	100.0
11 中枢神経系用薬	61.8	60.1	60.5	60.6	59.8	60.2	60.6	61.4	61.9	62.5	64.8	64.6	64.0	14.4	13.8
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	57.2	55.5	55.7	56.1	56.3	56.7	57.0	57.3	57.6	57.8	58.4	58.9	59.7	4.1	2.9
113 抗てんかん剤	47.0	44.7	45.1	45.3	45.8	46.2	46.7	47.0	47.3	48.0	48.4	49.3	50.0	1.2	1.4
114 解熱鎮痛消炎剤	79.0	76.9	77.1	77.1	77.2	77.5	77.7	78.3	78.7	79.4	82.8	82.5	80.9	3.6	3.5
116 抗パーキンソン剤	54.8	52.8	52.9	53.3	53.6	54.4	54.6	54.9	55.1	55.2	56.6	57.1	57.7	0.8	0.7
117 精神神経用剤	54.5	54.5	54.7	55.2	52.7	53.2	53.6	53.9	54.3	54.6	55.2	55.7	56.5	4.1	3.6
119 その他中枢神経系用薬	66.8	64.5	64.7	65.1	65.5	66.2	66.5	66.9	67.4	67.8	68.2	69.0	69.8	0.5	1.4
12 末梢神経系用薬	69.2	67.5	68.0	68.0	68.3	68.5	68.9	69.2	69.5	69.6	70.3	70.8	71.4	0.9	0.7
124 鎮痙剤	70.7	69.1	69.6	69.6	69.9	70.1	70.4	70.8	71.0	71.1	71.8	72.3	72.8	0.8	0.5
13 感覚器官用薬	56.6	54.7	55.4	55.6	55.7	56.1	56.3	56.5	56.7	56.9	57.5	58.2	59.5	1.6	1.6
131 眼科用剤	55.8	54.5	55.4	55.4	55.5	55.6	55.6	55.4	55.4	55.5	55.7	56.5	58.2	0.7	0.9
133 鎮暈剤	57.4	55.1	55.5	55.9	56.0	56.7	56.9	57.4	57.7	58.0	58.9	59.6	60.8	0.9	0.6
21 循環器官用薬	70.6	69.7	70.0	70.5	69.3	70.1	71.2	68.2	69.2	70.5	71.6	73.0	74.1	22.2	16.9
212 不整脈用剤	63.7	61.0	61.5	62.0	62.3	62.9	63.2	63.8	64.2	64.7	65.4	66.0	66.9	1.5	1.0
213 利尿剤	84.2	83.7	84.0	84.2	84.4	84.9	85.1	85.3	85.5	86.1	81.7	82.3	83.2	1.2	1.0
214 血圧降下剤	67.3	66.1	66.6	67.9	63.5	65.5	67.4	64.8	66.2	68.0	68.7	70.2	71.6	6.3	5.2
217 血管拡張剤	74.9	73.1	73.4	73.7	73.9	74.3	74.6	74.9	75.3	75.6	76.0	76.5	77.1	6.9	4.3
218 高脂血症用剤	69.4	69.5	69.8	70.0	70.2	70.5	72.6	62.6	64.0	66.8	70.2	73.3	74.9	4.8	3.7
219 その他の循環器官用薬	67.8	66.4	66.6	66.8	66.8	66.9	67.3	67.6	68.2	68.6	69.1	69.6	69.9	1.4	1.4
22 呼吸器官用薬	73.7	71.9	72.4	72.3	72.0	72.3	72.2	72.9	74.0	74.1	76.8	76.4	76.0	5.4	4.4
223 去痰剤	75.2	73.5	73.9	74.1	74.0	74.4	74.4	74.7	75.2	75.3	76.9	77.0	77.3	4.0	2.5
225 気管支拡張剤	47.9	46.0	46.3	46.4	46.6	47.1	46.9	47.1	47.9	48.2	50.1	50.4	51.1	0.8	0.6
23 消化器官用薬	81.9	80.6	80.8	80.9	81.0	81.4	81.6	82.0	82.3	82.4	83.0	83.3	83.6	19.8	15.6
231 止しゃ剤、整腸剤	97.4	97.2	97.3	97.2	97.1	97.1	97.3	97.5	97.5	97.5	97.6	97.6	97.7	1.0	2.0
232 消化性潰瘍用剤	73.8	71.9	72.3	72.5	72.8	73.3	73.5	73.9	74.2	74.5	75.1	75.5	76.1	8.9	6.2
234 制酸剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4.3	2.6
235 下剤、浣腸剤	93.3	92.9	92.9	93.0	93.0	93.2	93.2	93.3	93.4	93.4	93.6	93.7	93.9	1.6	1.4
236 利胆剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.2	1.0
239 その他の消化器官用薬	58.0	55.9	56.2	55.9	55.7	56.1	56.7	58.4	59.0	59.2	61.3	61.2	60.7	2.7	1.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	72.2	69.7	70.0	70.5	70.9	71.3	71.7	72.1	73.0	73.4	73.9	74.6	75.3	0.9	1.7
259 その他の泌尿生殖器官および肛門用薬	70.7	68.2	68.6	69.1	69.5	70.0	70.5	70.8	71.3	71.6	72.3	72.9	73.6	0.7	1.3
26 外皮用薬	40.6	38.6	39.0	39.4	39.6	40.0	40.4	40.6	41.1	41.4	41.9	42.6	43.5	9.3	6.2
264 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	41.1	39.0	39.4	39.8	39.9	40.3	40.7	40.9	41.6	42.0	42.6	43.3	44.1	8.4	5.5
31 ビタミン剤	93.8	93.3	93.5	93.5	93.7	93.7	93.8	93.8	93.9	94.0	94.1	94.2	94.4	3.8	3.8
311 ビタミンAおよびD剤	70.1	68.3	68.7	68.8	69.2	69.6	69.7	70.1	70.5	70.6	71.3	71.7	72.4	0.6	0.8
313 ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.8	2.0
32 滋養強壮薬	73.5	71.2	71.7	72.4	72.5	73.0	73.2	73.5	73.8	74.2	74.6	75.2	76.4	0.7	3.8
322 無機質製剤	71.2	68.6	69.2	70.2	70.3	70.9	71.1	71.2	71.5	71.9	72.3	72.9	74.2	0.6	0.5
325 蛋白アミノ酸製剤	40.4	38.1	38.3	39.1	39.0	39.9	39.8	40.7	41.2	41.5	42.2	42.1	43.5	0.1	3.0
33 血液・体液用薬	85.5	83.6	84.2	84.1	84.0	83.8	84.3	85.2	86.3	86.8	87.1	87.5	87.7	7.6	7.5
333 血液凝固阻止剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.0	3.7
339 その他の血液・体液用薬	77.7	76.0	76.3	76.6	76.8	77.2	77.5	77.8	78.2	78.4	78.9	79.3	79.9	5.0	3.1
39 その他の代謝性医薬品	67.3	66.5	66.8	67.3	65.1	65.8	66.5	67.1	67.5	68.0	68.6	69.1	69.7	6.1	7.9
394 痛風治療剤	77.7	76.8	76.9	77.0	77.2	77.3	77.4	77.8	77.9	78.0	78.4	78.8	79.1	1.2	1.3
396 糖尿病用剤	69.1	69.4	69.7	70.4	65.3	66.6	67.5	68.4	69.1	69.7	70.5	71.3	72.3	3.1	4.7
399 他に分類されない代謝性医薬品	59.1	56.5	57.2	57.6	58.1	58.5	58.8	59.3	59.6	60.0	60.4	61.1	61.7	1.6	1.5
42 腫瘍用薬	59.6	52.4	52.7	54.2	56.8	58.3	59.8	61.2	62.4	63.1	63.8	64.8	65.3	0.3	0.3
422 代謝拮抗剤	39.8	6.5	7.2	14.0	26.4	36.2	43.2	49.3	54.0	57.1	59.7	62.0	63.8	0.0	0.1
429 その他の腫瘍用薬	63.4	61.3	61.8	62.0	62.4	62.7	62.9	63.5	64.0	64.1	64.8	65.4	65.6	0.2	0.2
44 アレルギー用薬	67.3	65.9	65.7	65.7	63.8	64.6	65.2	65.7	66.3	66.4	68.1	69.5	72.9	4.6	4.0
449 その他アレルギー用薬	67.6	66.5	66.3	66.4	64.3	65.0	65.5	65.8	66.4	66.5	68.2	69.7	73.2	4.3	3.7
52 漢方製剤	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0	7.9
61 抗生物質製剤	59.4	56.9	57.0	57.3	58.0	59.1	58.7	59.0	59.8	59.7	61.7	62.1	63.2	1.4	1.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	54.4	51.0	51.2	51.4	52.3	53.9	53.7	54.3	55.1	54.9	57.5	57.8	59.0	0.7	0.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	64.3	62.4	62.9	63.3	63.8	64.5	63.7	63.5	64.2	64.1	65.7	66.0	67.0	0.6	0.4
62 化学療法剤	54.8	53.2	54.3	54.6	52.4	53.2	53.6	54.4	55.0	55.2	56.6	57.1	57.8	0.5	0.5
624 合成抗菌剤	63.6	60.5	61.2	61.7	62.0	62.9	62.4	62.7	63.3	63.0	66.7	67.6	68.5	0.1	0.1
625 抗ウイルス剤	56.2	64.0	64.8	66.2	50.9	52.5	53.0	54.0	54.9	56.1	54.2	55.3	57.0	0.1	0.2

注1） 構成割合①は、新指標の分母である「後発医薬品のある先発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」について、各薬効分類が占める割合（平成28年度）を示している。したがって、「後発医薬品のない先発医薬品」や「その他の品目」は含まれていない。
注2） 構成割合②は、「先発医薬品」、「後発医薬品」、及び「その他の品目」全てを含んだ全医薬品における構成割合（数量ベース）（平成28年度）を示している。
注3） 「その他の品目」とは、局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）及び承認が昭和42年以前のものをいう。
注4） 表示していない項目（薬効）があるので、構成割合を足しあげても総数と一致しない。
注5） 全ての剤形を含んでいる。

（参考） 分類別構成割合（数量ベース）（平成29年度）

（単位：%）

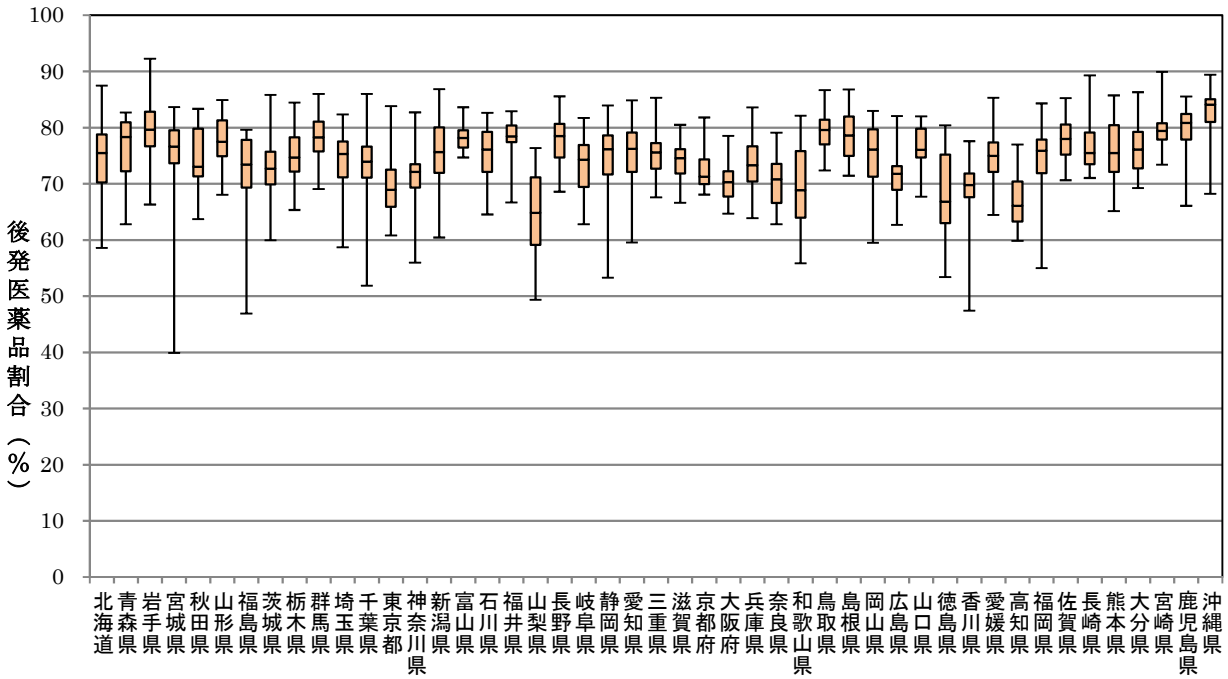
	構成割合
後発医薬品のない先発医薬品	18.2
後発医薬品のある先発医薬品	18.0
後発医薬品	42.4
その他の品目	21.4
計	100.0

１７．後発医薬品割合の市町村別状況

１．後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別にみた後発医薬品割合の分布状況を示している。表 13 で後発医薬品割合が最も高かった沖縄県は、中央値も最も高かった。

図１

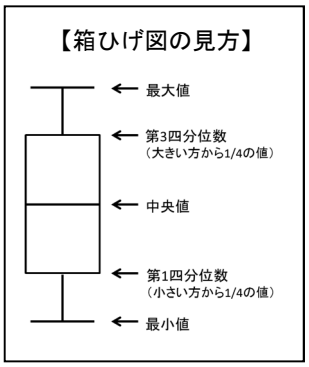


（注 1）保険請求のあった薬局の所在地を示している。（平成 30 年 3 月調剤分）

（注 2）各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

（注 3）長方形の下側の辺は第１四分位数、上側の辺は第３四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。

（注 4）後発医薬品割合は数量ベース（新指標）を用いている。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所（URL） http://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/17/gaiyou.html

２．後発医薬品割合の地域別結果

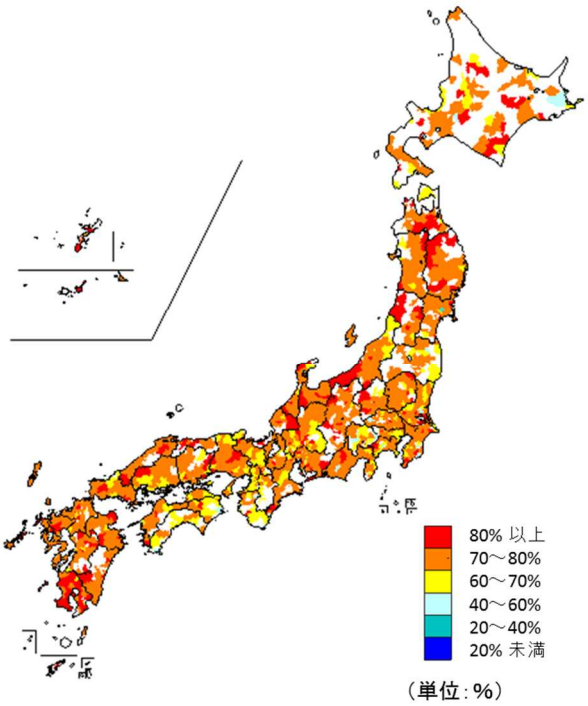
表 17　（上位 20）

順位	都道府県	市町村名	割合（%）
1	岩手県	クノヘグン カルマイマチ 九戸郡軽米町	92.3
2	宮崎県	コユグン シントミチョウ 児湯郡新富町	89.9
3	岩手県	クジシ 久慈市	89.7
4	沖縄県	シマジリグン ヨナバルチョウ 島尻郡与那原町	89.4
5	長崎県	ミナミマツウラグンシンカミゴトウチョウ 南松浦郡新上五島町	89.3
6	北海道	アカビラシ 赤平市	87.5
7	長崎県	ヒガシソノギグンハサミチョウ 東彼杵郡波佐見町	87.4
8	沖縄県	ナカガミグンキタナカグスクソン 中頭郡北中城村	87.0
9	新潟県	ミナミウオヌマグンユザワマチ 南魚沼郡湯沢町	86.8
10	島根県	チカノアシグン ツワノチョウ 鹿足郡津和野町	86.8
11	鳥取県	トウハクグンユリハマチョウ 東伯郡湯梨浜町	86.7
12	岩手県	ニノヘグン イチノヘマチ 二戸郡一戸町	86.3
13	大分県	タケタシ 竹田市	86.3
14	群馬県	アガツマグン ナカノジョウマチ 吾妻郡中之条町	86.0
15	千葉県	アサヒシ 旭市	86.0
16	沖縄県	ナンジョウシ 南城市	85.9
17	群馬県	アガツマグンナガノハラマチ 吾妻郡長野原町	85.9
18	茨城県	ユウキグンヤチヨマチ 結城郡八千代町	85.8
19	沖縄県	シマジリグンヤエセチョウ 島尻郡八重瀬町	85.7
20	熊本県	アソグンアソマチ 阿蘇郡南阿蘇村	85.7

（注 1）保険請求のあった薬局の所在地を示している。（平成 30 年 3 月調剤分）
（注 2）各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。
（注 3）後発医薬品割合は数量ベース（新指標）を用いている。

３．市町村別後発医薬品割合マップ

図 2



（注 1）保険請求のあった薬局の所在地を示している。（平成 30 年 3 月調剤分）
（注 2）空白となっている地域は、当該月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村である。
（注 3）後発医薬品割合は数量ベース（新指標）を用いている。